

令和4年度

# 鹿屋体育大学 FD 報告書

令和5年12月

鹿屋体育大学 FD 推進専門委員会

## 目 次

|                      |    |
|----------------------|----|
| 1. はじめに              | 2  |
| 2. 令和4年度FD推進専門委員会の活動 | 3  |
| 3. 令和4年度FD事業実施概要     | 5  |
| 4. 授業参観              | 8  |
| 5. 新任教員研修会           | 12 |
| 6. FD講演会             | 14 |
| 7. TA研修会             | 22 |
| 8. 学外研修              | 26 |
| 9. プレFD研修            | 33 |

### (FD関係資料集)

|                                               |    |
|-----------------------------------------------|----|
| 1. 令和4年度授業振り返りアンケート実施結果について                   | 38 |
| 2. 令和3年度教員表彰について                              | 47 |
| 3. 令和3年度FD事業への教員参画状況                          | 51 |
| 4. 令和3年度鹿屋体育大学ファカルティ・ディベロップメント<br>推進専門委員会委員名簿 | 52 |

## はじめに

本学の中期計画（令和4年度～令和9年度）における教育課題の実現や大学ビジョン NIFS30 における教育・学生支援領域での目標である「A.C.E. KANOYA の育成」に向け、ファカルティ・ディベロップメント（FD）では、以下の（１）～（５）の事項について整備・充実を図る予定です。

- （１） 教育の質保証の観点から、厳格な成績評価が行える環境の整備
- （２） 学部及び大学院における目指す人材養成に向けた教員の教育力・支援力の高度化
- （３） 学生に対する教育・支援を充実するために、教員が“やりがいを持って“教育・研究等に打ち込める環境の整備・充実
- （４） これまで実施してきた学生の主体的で自主的な学修機会の確保と充実
- （５） 生成 AI 等を活用した新たな学修・教育機会に対する支援

そのために、令和4年度はFD活動として以下に取り組みました。

- ・授業に関わる学生支援者の環境整備
- ・授業科目を対象とした学生及び教員による授業振り返りアンケートの実施
- ・授業における成績評価・達成度の分析と評価
- ・教員表彰制度の一部改正実施
- ・FD講演会・研修会等の実施
- ・授業参観の実施
- ・新任教員研修会の開催（非常勤を含む）
- ・プレFDの実施
- ・学内における学生の主体的な学修・協働学習を支援する環境整備
- ・FD報告書の発刊

本報告書には、令和4年度に実施されました活動内容が掲載されておりますので、是非、ご一読いただき、各先生の今後の教育活動の参考にしていただければ幸いです。

今後とも本学の教育活動の一層の充実に向け取り組んで参りますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

令和5年12月

FD推進専門委員会委員長  
金高 宏文

## 令和4年度FD推進専門委員会の活動

### 第1回開催（令和4年5月24日）

- ①令和4年度FD推進専門委員会の職務分担について
- ②令和4年度FD推進専門委員会の年間活動計画について
- ③教員の教育・指導技術等に関する評価システムに基づく表彰対象者の選出方法に係る実施要項の一部改正について
- ④教員の教育・指導技術等に関する評価システムに基づく表彰対象者の選出方法に係る実施要項の取り扱いの一部改正について
- ⑤教員表彰（優秀授業賞）対象者の推薦について
- ⑥令和4年度前期授業参観について

### 第2回開催（令和4年6月29日～7月4日）

- ①大学体育指導者養成研修会への教員及び大学院生派遣について

### 第3回開催（令和4年7月26日）

- ①TA・STAの任用に係る見直しについて

### 第4回開催（令和4年10月5日～10月6日）

- ①令和4年度TFの申請について

### 第5回開催（令和4年11月14日）

- ①TA・STAの任用に係る見直しについて
- ②大学設置基準の一部改正に伴うアシスタント制度の見直しについて
- ③遠隔授業受講に関する留意点について

### 第6回開催（令和4年12月13日）

- ①TA・STAの任用に係る見直しについて
- ②令和4年度プレFD研修会について
- ③令和4年度FD研修会について

### 第7回開催（令和5年1月23日）

- ①令和4年度FD講演会について
- ②鹿屋体育大学ティーチング・アシスタント実施要項、鹿屋体育大学リサーチ・アシスタント実施要項及び鹿屋体育大学スチューデント・アシスタント実施要項に係る採用手続き等に関する申合せについて

### 第8回開催（令和5年1月25日～1月30日）

- ①令和4年度FD研修会の開催について

第9回開催（令和5年2月21日）

- ①オンラインテスト（に係る不正行為）のルール策定について
- ②アフターコロナにおける遠隔授業の取り扱いについて
- ③鹿屋体育大学ティーチング・アシスタント実施要項、鹿屋体育大学リサーチ・アシスタント実施要項及び鹿屋体育大学スチューデント・アシスタント実施要項に係る採用手続き等に関する申合せについて

第10回開催（令和5年3月29日～3月30日）

- ①令和5年度FD推進専門委員会の職務分担（案）について
- ②令和5年度新任教員研修会及びTA研修会の実施について
- ③令和5年度TAハンドブックについて

## 令和4年度FD事業実施概要

### 【授業参観】

期 間：(前期) 6月～7月  
(後期) 11月～1月

### 【新任教員研修会】

講 師：前田教務委員会委員長、金高FD推進専門委員会委員長  
演 題：「教育課程説明」及び「FD事業概要説明」  
日 時：令和4年4月1日(金)  
令和4年6月1日(水)  
令和4年9月6日(火)

### 【FD講演会①】

講 師：小川 健 氏  
(専修大学 経済学部国際経済学科 准教授)  
演 題：「オンライン試験の先行事例と課題」  
日 時：令和5年2月15日(水) 13時30分～15時00分

### 【FD講演会②】

講 師：今村 智佳子 氏  
(鹿児島大学障害学生支援センター 特任助教・臨床心理士)  
演 題：「障がい学生に対する合理的配慮について」  
日 時：令和5年2月28日(火) 13時30分～15時30分

### 【TA研修会】

講 師：FD推進専門委員会(下川講師・村田講師)  
演 題：「TA雇用学生との意見交換及びTAハンドブックの説明等」  
日 時：令和4年4月6日(水) 16時00分～17時00分

#### 【学外研修】

研修名：令和4年度教職員・情報通信技術支援員（ICT支援員）著作権講習会  
「教育機関における著作物利用と知財教育」

参加者：梶准教授

日 時：令和4年8月25日（木）13：00～15：50

研修名：令和4年度FD・SD合同フォーラム「教育のDX化に向けたアクティブ・ラーニング再考」

参加者：和田教授

日 時：令和4年11月11日（金）

研修名：教育の質保証実践セミナー

学修成果の可視化の実質化と教学マネジメントの確立

魅力ある教育に繋げるための～組織運営の枠組み・学内合意の形成・情報システムの整備～

『学習成果の可視化』の後にすべきこと」

参加者：関教授・梶准教授・村上講師

日 時：令和4年12月1日（木）または12月2日（金）

研修名：2022年度分野連携アクティブ・ラーニング対話集会

参加者：関教授

日 時：令和4年12月17日（土）

研修名：令和4年度 鹿児島県総合教育センター 調査研究発表会

「1人1台端末時代における新たな学校教育の在り方」

参加者：梶准教授

日 時：令和5年1月27日（金）

研修名：教育DX（デジタルトランスフォーメーション）セミナー・展示会

参加者：和田教授・迫田助教

日 時：令和5年3月15日（水）

#### 【プレFD研修会】

研修名：公益社団法人全国大学体育連合2022（令和4）年度大学体育指導者全国研修会

参加者：小松 崇志（大学院博士後期課程3年）

日 時：令和4年8月21日（日）～8月24日（水）

研修名：公益社団法人全国大学体育連合第14回大学体育指導者養成研修会

参加者：鈴木 功士（大学院博士後期課程3年）

日 時：令和5年3月6日（月）～3月8日（水）

**【授業評価調査（授業振り返りアンケート）】**

期 間： （前期）15 週科目/7 月中旬～7 月下旬  
8 週科目/5 月下旬～6 月上旬  
（後期）15 週科目/1 月下旬～2 月上旬  
8 週科目/11 月中旬～12 月上旬

# 授業参観

## 1. 授業参観の実施計画 (Plan)

「令和4年度 授業参観実施要項」(11 頁)を参照のこと。

## 2. 授業参観の実施状況 (Do)

授業参観数は 42 回で、授業参観者数は延 82 名(実人数 52 名)であった。これは、全教員(64 名)の 81.3%であった。

| 連番                   | 開講期 | 日付                                          | 授業担当教員                  | 授業科目名            | 参観者                                                                                                  |
|----------------------|-----|---------------------------------------------|-------------------------|------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1                    | 前期  | 6 月 2 日                                     | 吉田 剛一郎                  | 運動生化学            | 前阪茂樹, 国重徹,<br>吉重美紀, 関朋昭,<br>永原隆, 浜田幸史,<br>隅野美砂輝, 松村勲, 下<br>川美佳, 與谷謙吾,<br>幾留沙智, 榮樂洋光, 笹<br>子悠歩, 小崎亮輔, |
| 2<br>3               | 前期  | 6 月 4 日<br>6 月 11 日                         | 浜田 幸史<br>梶 ちか子<br>鶴木 親志 | 保健体育科教育法Ⅲ        | 濱田幸二, 金高宏文,<br>和田智仁, 坂中美郷, 栗<br>山靖弘, 日下知明, 藤井<br>雅文                                                  |
| 4                    | 前期  | 6 月 7 日                                     | 関 朋昭                    | スポーツマネジメント<br>概論 | 高橋仁大, 坂口俊哉, 小<br>崎亮輔, 棟田雅也,<br>北村尚浩, 藤田英二,<br>田巻弘之, 竹中健太郎                                            |
| 5<br>6<br>7<br>8     | 前期  | 6 月 7 日<br>6 月 14 日<br>6 月 21 日<br>6 月 28 日 | 濱田 幸二<br>坂中 美郷          | バレーボール①          | 塩川勝行, 青木竜                                                                                            |
| 9<br>10<br>11        | 前期  | 6 月 8 日<br>6 月 15 日<br>6 月 22 日             | 浜田 幸史<br>梶 ちか子          | 保健体育科教育法Ⅰ        | 森司朗, 山本一生,<br>村上俊祐, 小崎亮輔                                                                             |
| 12<br>13<br>14<br>15 | 前期  | 6 月 8 日<br>6 月 15 日<br>6 月 22 日<br>6 月 29 日 | 梶 ちか子                   | ダンス①             | 笹子悠歩, 中谷太希,<br>山口大貴                                                                                  |
| 16<br>17<br>18<br>19 | 前期  | 6 月 8 日<br>6 月 15 日<br>6 月 22 日<br>6 月 29 日 | 梶 ちか子                   | ダンス②             | 吉重美紀, 日下知明                                                                                           |
| 20                   | 前期  | 6 月 20 日                                    | 塩川 勝行<br>青木 竜           | サッカー①            | 松村勲, 隅野美砂輝, 笹<br>子悠歩                                                                                 |
| 21                   | 前期  | 6 月 21 日                                    | 三浦 健<br>前村 かおり          | バスケットボール①        |                                                                                                      |

|                            |    |                                            |                                                                                                        |                       |                                                                             |
|----------------------------|----|--------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 22<br>23<br>24             | 前期 | 6月21日<br>6月28日<br>7月5日                     | 藤田 英二                                                                                                  | 運動処方論                 | 山口大貴，笹子悠歩，<br>梶ちか子，廣津匡隆，小<br>澤雄二，榮樂洋光，中本<br>浩揮，小崎亮輔，堀内雅<br>弘，浜田幸史，中垣内真<br>樹 |
| 25                         | 前期 | 6月27日                                      | シレニ ミハヤエル                                                                                              | 総合英語Ⅳ                 | 堀内雅弘                                                                        |
| 26                         | 前期 | 7月11日                                      | 栗山 靖弘                                                                                                  | 生徒・進路指導論              | 瓜田吉久，山本一生，村<br>田宗紀，山口大貴，前村<br>かおり                                           |
| 27<br>28<br>29<br>30<br>31 | 前期 | 7月12日<br>7月19日<br>7月26日<br>10月4日<br>10月11日 | 萬久 博敏<br>成田 健造                                                                                         | 陸上・体操・水泳③<br>(水泳)     | 前村かおり                                                                       |
| 32                         | 前期 | 7月13日                                      | 松村 勲<br>小森 大輔<br>栗山 靖弘<br>青木 竜                                                                         | 総合演習 A                | 浜田幸史，日下知明，成<br>田健造                                                          |
| 33                         | 前期 | 7月27日                                      | 隅野 美砂輝                                                                                                 | スポーツマーケティング論          | 関朋昭，山田理恵，<br>森克己                                                            |
| 34                         | 後期 | 11月29日                                     | 森 克己<br>栗山 靖弘<br>山田 恭久<br>小路 由美子<br>日高 孝                                                               | 国語・文章表現法              | 山本一生，沼尾成晴，幾<br>留沙智                                                          |
| 35<br>36<br>37             | 後期 | 11月28日<br>12月5日<br>12月12日                  | 浜田 幸史<br>梶 ちか子<br>鶴木 親志                                                                                | 保健体育科教育法Ⅳ             | 藤井雅文                                                                        |
| 38<br>39                   | 後期 | 11月30日<br>12月7日                            | 浜田 幸史<br>梶 ちか子                                                                                         | 保健体育科教育法Ⅱ             |                                                                             |
| 40<br>41                   | 後期 | 11月30日<br>12月14日                           | 浜田 幸史<br>森 克己<br>濱田 幸二<br>中本 浩揮<br>山本 一生<br>永原 隆<br>梶 ちか子<br>下川 美佳<br>栗山 靖弘<br>坂中 美郷<br>小森 大輔<br>藤井 雅文 | 教職実践演習（中・高）<br>(3～8週) |                                                                             |

|    |    |       |                         |               |                                                                        |
|----|----|-------|-------------------------|---------------|------------------------------------------------------------------------|
| 42 | 後期 | 1月27日 | 中本 浩揮<br>幾留 沙智<br>山下 協子 | 教育相談・カウンセリング論 | 国重徹，関朋昭，<br>中村勇，永原隆，<br>萬久博敏，梶ちか子，小<br>森大輔，村上俊祐，藤井<br>雅文，山口大貴，迫田和<br>之 |
|----|----|-------|-------------------------|---------------|------------------------------------------------------------------------|

### 3. 授業参観の分析・評価 (Check)

新型コロナウイルス感染症に対応した授業も3年目となった令和4年度は，オンラインで実施せざるを得ない授業と対面での実施が可能となった授業などが混在した1年となった。

授業の参観者が回答する「授業参観アンケート」の結果からは，オンライン授業に関しては，教員・学生ともにその授業形態や授業方法等にも慣れ，スムーズに授業が展開できている様子が見て取れた。Webex のチャットや投票機能のみならず，WebClass の学習カルテやアンケート，レポート機能を上手く使い分けながら授業されている様子が伺えた。また，教員から学生への一方通行の授業ではなく，ブレイクアウトセッションをはじめ，学生が主体的に授業に参画できる取り組みや，各授業担当者が学生の学習意欲を高めるための言葉かけなど創意工夫がなされた授業が展開されていた。しかしながら，やはりネットワーク環境や機器の問題等で，想定されていた情報が学生に伝わりにくい場面も見られた。

対面授業に関しては，コロナ対策も長期化し，一部気の緩みがみられた場面も見られたが，総じて感染対策を講じながらの授業が実施されていた。しかしながら，学生達は，リアルな体験を伴う対面授業に積極的に取り組んでおり，授業者もグループワークを積極的に取り入れるなどの工夫がなされていた。一方，水野講堂は暑さ対策や机がない環境で授業には不向きであること，また SP 研究センターの音響設備等，ハード面に関しての整備に関しては課題が見られた。

### 4. 次年度以降の改善点等 (Action)

多様な授業形態の授業参観が実施され，また，アンケートデータも蓄積されていることから，この授業参観の取組が教員や学生の指導・教育の質にどのような影響をもたらしているのかを客観的に分析することが必要であると考えられる。また，授業参観後，入力されたアンケートデータが授業者の手元に渡るまでの時間的ロスがあることから，アンケート実施は継続した上で，短時間でも授業者と参観者でのディスカッションの時間を設け，授業者の意図や工夫点や，参観者から見た疑問点等，お互いに質問や情報交換をしたりして，双方の教育の質や教育内容の改善に繋がる取組を行うことも一案であろう。さらに，その際に，学生のコメントや小レポートの内容を共有することができれば，より参観者は学生の様子を詳細に確認できると考えられる。

また，参観率をさらに向上させるための取組を推進する必要がある。コロナが5類に移行し，コロナ前に近い対面授業の形態が主となった令和5年度からは，オンラインでの授業が減少する。オンラインでなくとも，授業の録画映像を観たり，また授業風景を中継できるような機能を検討するなど，教員の負担が出来る限り少ない状況をつくる必要がある。さらに，講義棟の工事が進められるが，より良い授業環境を維持するため，ハード面での課題解決も急務であると考えられる。

(研修担当者・文責：梶ちか子、榮樂洋光)

## 授業参観実施要項

### 趣旨・目的

本学ではF D推進事業として、学部全体の教育力向上、教育の質保証及び教育内容の改善を目指して、これまでF D講演会・研修会、公開研究授業・研究討論会等様々な取り組みを実施してまいりました。

今回、さらなる授業改善の取り組みとして、公開研究授業・研究討論会に代えて教員が相互に授業を参観することで、自らの授業の内容・方法等の改善を図ることを目的として、授業参観を実施することとしました。

### 内 容

実施時期：前期（6月～7月中旬）

後期（10月～1月中旬）

対象科目：原則として全ての授業科目（非常勤講師担当科目も含む）とする。

参観回数：各自年1回を参観の目安とする。

なお、新規採用教員及び講師に昇任した教員については、年間3回以上を参観の目安とする。

参観の流れ：1. 参観希望者は各自、授業担当教員へ参観希望の申し込みを行う。

なお、F D推進専門委員会による推奨科目の参観希望者は、教務課へ事前に連絡する。

2. 参観者は、参観後に授業参観記録をオンラインで回答する。

3. 教務課は、提出された授業参観記録を授業担当教員へフィードバックする。

# 新任教員研修会

## 1. 研修の実施計画 (Plan)

「令和4年度 新任採用者研修計画」(13頁)を参照のこと。

## 2. 研修の実施状況 (Do)

新任研修における必修事項については、以下の日程で実施した。それ以外の事項については、各教員で選択して、1年以内に3つ以上の研修を受けることとした(研修状況は、51頁のFD事業への教員の参画状況を参照のこと)。

講 師：前田理事

金高教務委員会・FD推進専門委員会委員長

演 題：「教育課程概要説明」及び「FD事業概要説明」

日 時：令和4年4月1日

受講者：笹子悠歩 助教、前村かおり助教、宮崎輝光 特任助教

日 時：令和4年6月1日

受講者：堀内雅弘 教授

日 時：令和4年9月6日

受講者：山下龍一郎 講師

## 3. 研修の分析・評価 (Check)

今年度より、新任教員研修の充実を図るために、研修前に教育等に関わる研修資料を事前配布し、目を通して臨むようにした。研修では、主要な案件について質疑をすることで共通理解を深めるようにした。その結果、一方的な研修から双方向での研修が可能となった。また、新任教員3名を対象に所属系のFD推進専門委員会委員(チューター教員)からFDに関連する研修等の取り組みについて口頭で意見・感想を聴取した。その結果、初回の研修会をはじめ他の研修会に対して不都合や問題はなかったとのことであった。また、遠隔授業の実施や授業支援システム(LMS)についても、事務局及び各系での教員のフォローアップにより円滑に進められているとのことであった。

新任教員においては事務手続きの方法や仕組み等を速やかに理解することは、円滑でストレスフリーな業務遂行に必須であり、チューター教員は新任教員の教育パフォーマンスを安定して速やかに発揮させる上で重要な存在となる。それ故、今後もチューター教員等のサポートは継続する。

## 4. 次年度以降の改善点等 (Action)

新任教員研修で扱う内容や事前の配付資料などをさらに検討し、バージョンアップを図っていく。

(研修担当者・文責：金高 宏文)

# 令和4年度新規採用者研修計画

●必修 ○選択 △希望

| 研修テーマ・メニュー |                                                                                                                    | 開催時期 | R4度実施予定       |   | 研修担当                         | 初任者 | 転任者              | 常勤教員 | 非常勤教員 |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------------|---|------------------------------|-----|------------------|------|-------|
| 理念<br>倫理   | 本学の理念・目標(中期計画・年度計画)                                                                                                | 採用時  | 教務委員会委員長より説明  | ● | 管理職<br>教務委員会委員長              | ●   | ●                |      |       |
|            | 新採用職員等研修(学長講話等)<br>・教職員としての服務規律<br>とモラル、職場のルール等倫理的な<br>事項の説明<br>(学内の情報管理、個人情報の取り<br>扱い、ハラスメント、喫煙、交通事故<br>等への注意喚起等) |      |               | ● |                              | ●   | ●                |      |       |
|            | カリキュラム概要                                                                                                           | 4月   | 教務委員会委員長より説明  | ● | 教務委員会<br>新入生オリエンテーション<br>に参加 | ●   | ●                |      |       |
| 準備         | 教務関連ガイダンス(着任直後)<br>・教室や印刷室等の案内<br>・AV機器等の使用方法<br>・教室関係鍵等の貸借方法<br>・教務システムの説明<br>(履修者名簿、成績入力・通知等)<br>・欠席届の取扱い        | 採用時  | 教務課より説明       | ● | 教務課                          | ●   | ●                |      |       |
| 計画         | 授業づくりに向けたオリエンテーション<br>及び助言<br>・教育内容及び方法の改善に向けた<br>取り組みの説明(FD)<br>・学習評価<br>・シラバス<br>・e-Learning<br>・PPT作成           | 採用時  | FD委員長より説明     | ● | FD委員会<br>教務委員会<br>チューター      | ●   | ●                |      |       |
| 実践<br>研修   | FD推進専門委員会関連研修                                                                                                      | 随時   | FD委員会より<br>通知 |   | FD委員会                        |     |                  |      |       |
|            | 授業参観(講義、演習、実習)                                                                                                     |      |               | ● |                              | ●   | ○                | ○    | △     |
|            | 授業公開                                                                                                               |      |               | ● |                              | ●   | ○                | ○    | △     |
|            |                                                                                                                    |      |               |   |                              |     | 以下のFD関連より、3回以上実施 |      |       |
|            | FD講演会                                                                                                              |      |               | ● |                              | ○   | ○                | ○    | △     |
|            | FD研修会等                                                                                                             |      |               | ● |                              | ○   | ○                | ○    | △     |
|            | TA研修会(学生用/教員用)                                                                                                     |      |               | ● |                              |     |                  |      |       |
|            | RA研修会(学生用/教員用)                                                                                                     |      |               | ● |                              |     |                  |      |       |
|            | e-Learning研修会                                                                                                      |      |               | ● |                              | ○   | ○                | ○    | △     |
|            | 他大学の授業見学                                                                                                           |      |               | ● |                              | ○   | ○                | ○    |       |
|            | 他地区・他大学・他機関等の研修参加                                                                                                  |      |               | ● |                              | ○   | ○                | ○    |       |
|            | その他の研修                                                                                                             |      | 総務課より通知       |   | 事務局                          |     |                  |      |       |
|            | 個人情報の適正管理に関する講演会                                                                                                   |      |               | ● |                              | ○   | ○                | ○    |       |
|            | ハラスメントに関する講演会                                                                                                      |      |               | ● |                              | ○   | ○                | ○    |       |
|            | 英語(英会話)研修                                                                                                          |      |               | ● |                              | ○   | ○                | ○    |       |
|            | その他学内での研修会等                                                                                                        |      |               | ● |                              | ○   | ○                | ○    |       |
| 振り返り       | 研修の振り返り                                                                                                            |      | FD委員会より<br>通知 | ● | FD委員会<br>チューター               | ●   | ●                |      |       |
|            | チューターとの振り返り                                                                                                        |      |               | ● |                              | ●   |                  |      |       |
|            | 研修制度の見直し提案                                                                                                         |      |               | ● |                              | △   | △                |      |       |

(2022.3.28)

## FD 講演会①

### 1. 講演会の実施計画 (Plan)

新型コロナウイルス感染症流行下のここ数年度において、オンラインテスト固有のトラブルが散見されるようになった。これを受けて、現在はFD 推進専門委員会を中心に、オンラインテストのルール策定を検討している。

今回は、その議論を充実させるために、専修大学・経済学部・国際経済学科・准教授の小川 健 先生を招き、「オンライン試験の先行事例と課題」をテーマとして、オンラインテストに係る他大学等の先行事例や、オンラインテストの抱える課題とその解決案等を紹介いただき、本学におけるオンラインテストの実施・取り扱いについて考える機会とした。

講師等については、実施要項 (16 頁) を参照のこと。

### 2. 講演会の実施状況 (Do)

| 講演会    | 開催日<br>(講演会担当者)            | 開催時間                    | 場所               | 教員<br>参加者数 | 特任教員<br>参加者数 | 計  |
|--------|----------------------------|-------------------------|------------------|------------|--------------|----|
| FD 講演会 | 令和 5 年 2 月 15 日<br>(小川 健氏) | 13 時 30 分～<br>15 時 00 分 | オンライン<br>(WebEx) | 25         | 1            | 26 |

### 3. 講演会の分析・評価 (Check)

講演会実施の成果を検討するために、参加者アンケートを 17 頁のとおり実施した (回収は 26 人分)。その結果、以下のことが明らかになった。

- ・「学部・大学院教育の質の向上につながる内容であったか」については、参加者の 73 %が適切と回答した。
- ・「学部・大学院教育の改善、質の向上に向けて取り組んでみたい、取り入れたいと思う情報が得られたか」については、参加者の 65 %が「得られた」と回答した。
- ・以上の FD 講演会の目的に関連した質問に対する回答より、参加者の 7 割前後は、本 FD 講演会に参加する意義を見出したと評価できる。
- ・「講演会の内容は適切だったか」については、参加者の 65 %が適切と回答した。
- ・「講演会の開催時期は適切であったか」については、参加者の 65 %が適切と回答した。適切としない参加者の意見として、「忙しくなる年度末以外の開催」、「9 月後半の開催」、「試験前の実施がよかった」などが示された。
- ・「講演会の時間は適切であったか」については、参加者の 81 %が適切と回答した。適切としない参加者の意見として、「15:00～16:30 でもよかった」、「60 分ぐらい」が示された。
- ・「講演会の進行は適切であったか」については、参加者の 81 %が適切と回答した。
- ・「提供資料や配布資料は適切であったか」については、参加者の 77 %が適切と回答した。
- ・「Web での講演会でも十分な研修が可能だと思うか」については、参加者の 73 %が可能と回答した。
- ・以上の企画・マネジメントに関連した質問に対する回答より、参加者の 7 割～8 割は、本 FD 講演会の企画・マネジメントに理解を示したと考える。
- ・テストの方法論とともに、どのような目標を達成するための、何を評価するテストなのか、

その位置づけをはっきりさせる必要があることを改めて感じたとの意見が示された。

- ・不測の事態に備えた準備は不可欠と感じ、対面でも遠隔でも公平な環境の設定を目指し、システムを上手に活用したい。そのために、システムを活用する手段を教員が学習しておく必要があるとの意見が示された。
- ・具体的な操作方法等について教授いただき、授業にもすぐに役立てられる内容であったとの意見が示された。
- ・Web 試験を行っている教員は、この講演を活かして欲しく、Web 試験を検討する際には、指導を受けて実施したいとの意見が示された。
- ・以上の本 FD 講演会に対する意見および感想等により、今回は、本学におけるオンラインテストの実施・取り扱いについて考察する良い機会が得られたと考える。

#### 4. 次年度以降の改善点等 (Action)

- ・内容として、「WebClass にはオンライン試験に使える機能としてどのようなものがあるか」と、「オンライン試験の不正対策をどのように行うか」というものであったが、テーマをどちらかに絞っていただいても良かったのではないかと（とくに前者は個々の教員の努力で勉強できる範囲と思われるため）との指摘が示された。
- ・次年度は、各授業で理解を問うためにどのような課題を出しているのか、また、学生の提出課題からみる本学学生が苦手としていそうなこと（+できていることも）について、FD 講演会を実施していただきたいとの意見が示された。
- ・以上の意見を参考として、FD 委員会として今後、教職員のニーズに即した FD 講演会の内容を検討していきたいと考える。

(研修担当者・文責：吉田剛一郎、村上俊祐、日下知明)

## 令和4年度FD講演会 実施要項

### 目的

新型コロナウイルス感染症流行下のここ数年度において、オンラインテスト固有のトラブルが散見されるようになった。これを受けて、現在はFD推進専門委員会を中心に、オンラインテストのルール策定を検討している。

議論を充実させるために、専門家を招き、オンラインテストに係る他大学等の先行事例や、オンラインテストの抱える課題とその解決案等を紹介いただき、本学におけるオンラインテストの実施・取り扱いについて考える機会とする。

### 日時

令和5年2月15日（水） 13：30～15：00

### 対象

本学教員

### 概要

講師：専修大学経済学部専任教員  
小川 健 先生

テーマ：『オンライン試験の先行事例と課題』

場 所：オンライン（Webex）

## 令和4年度 FD講演会アンケート集計結果

開催日:令和5年2月15日 13時30分～15時00分(オンライン)

講演題目:『オンライン試験の先行事例と課題』

講師:小川 健(専修大学経済学部専任教員)

参加者:26名

FD講演会の趣旨:

新型コロナウイルス感染症流行下のここ数年において、オンラインテスト固有のトラブルが散見されるようになった。これを受けて、現在はFD推進専門委員会を中心に、オンラインテストのルール策定を検討している。議論を充実させるために、専門家を招き、オンラインテストに係る他大学等の先行事例や、オンラインテストの抱える課題とその解決案等を紹介いただき、本学におけるオンラインテストの実施・取り扱いについて考える機会とする。

### OFDの目的に関連した質問

| 質問内容                                               | たいへん<br>そう思う | そう思う | あまりそう<br>思わない | 全くそう<br>思わない |
|----------------------------------------------------|--------------|------|---------------|--------------|
| ・学部・大学院教育の質の向上につながる内容でしたか。                         | 3            | 16   | 6             | 1            |
| ・学部・大学院教育の改善、質の向上に向けて取り組んでみたい、取り入れたいと思う情報が得られましたか。 | 3            | 14   | 7             | 2            |
| ・上記以外のことで、本学の教育の改善や質保証に有益な情報やヒントが得られましたか。          | 4            | 15   | 7             | 0            |

### 〇企画・マネージメントに関連した質問

| 質問内容                                                                                                                                 | たいへん<br>そう思う | そう思う | あまりそう<br>思わない | 全くそう<br>思わない |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|------|---------------|--------------|
| ・講演会の内容は適切だったと思いますか。                                                                                                                 | 3            | 14   | 8             | 1            |
| ・講演会の開催時期は適切であったと思いますか。                                                                                                              | 4            | 13   | 8             | 1            |
| (変更するとすれば、いつ頃の実施がいいと思いますか。)<br>・忙しくなる年度末以外 ・9月後半 ・試験前の実施がよかった<br>・内容による(今回は試験後だったので、試験前にするべきだったと感じる)<br>・次年度の期末試験実施前(6月くらい)でもよかったと思う |              |      |               |              |
| ・講演会の時間は適切であったと思いますか。                                                                                                                | 9            | 12   | 4             | 1            |
| (変更するとすれば、どのくらいの時間がいいと思いますか。)<br>・15:00～16:30でもよかったかと<br>・60分ぐらい                                                                     |              |      |               |              |
| ・講演会の進行は適切であったかと思いますか。                                                                                                               | 9            | 12   | 4             | 1            |
| ・提供資料や配布資料は適切であったかと思いますか。                                                                                                            | 7            | 13   | 5             | 1            |
| ・Webでの講演会でも十分な研修が可能だと思いますか。                                                                                                          | 11           | 8    | 5             | 2            |

### 〇本講演会の感想及び意見等

・テストの方法論とともに、どういった目標を達成するための、何を評価するテストなのか、その位置づけをはっきりさせる必要があることを改めて感じた。

・担当授業のほとんどが実技科目のため、これまで遠隔で試験を実施した経験はありません。しかし、不測の事態に備えた準備は不可欠と感じました。対面でも遠隔でも100%の監視は無理なものの、公平な環境の設定を目指し、システムを上手に活用したいと思いました。そのためには情報を収集し、システムを活用する手段を教員が学習しておく必要があると思いました。貴重なお話をありがとうございました。

・具体的な操作方法等についてもご教授いただいたことで、授業にもすぐに役立てられる内容でした。

・内容として「WebClassにはオンライン試験に使える機能としてどのようなものがあるか」と「オンライン試験の不正対策をどのように行いうるか」というものであったが、テーマとしてどちらかに絞っていただいても良かったのではないかと(特に前者は個々の教員の努力で勉強できる範囲だと思ったため)。

・web試験をしている人は、この講演を活かして欲しい！web試験を検討するには指導を受けて実施したい！

### 〇来年度以降のFD事業についての意見(要望・改善点)等について

・各授業では授業理解を問うためにどのような課題を出しているのか、学生の提出課題からみる本学学生が苦手としていそうなこと(+できていることも)

・FD委員会としては、先生方のニーズに即した内容を検討していきたいと思います。

## FD 講演会②

### 1. 講演会の実施計画 (Plan)

障がいのある学生への修学支援について、具体的な事例や対応方法等について知ることにより、学内の障がい学生支援への理解と機運を高め、学生支援の充実を図ることを目的とした。

今回は、鹿児島大学・障害学生支援センター・特任助教であり、臨床心理士の今村 智佳子先生を招き、「障がい学生に対する合理的配慮について」をテーマとして、障がいのある学生への修学支援について具体的な事例や対応方法等を学ぶ。そのことにより、学内の障がい学生支援への理解と機運を高め、学生支援の充実を図る機会とした。

講師等については実施要項（21 頁）を参照のこと。

### 2. 講演会の実施状況 (Do)

| 講演会    | 開催日<br>(講演会担当者)               | 開催時間                    | 場所                             | 教員<br>参加者数 | 事務<br>参加者数 | 計  |
|--------|-------------------------------|-------------------------|--------------------------------|------------|------------|----|
| FD 講演会 | 令和 5 年 2 月 28 日<br>(今村 智佳子 氏) | 13 時 30 分～<br>15 時 30 分 | 対面<br>もしくは<br>オンライン<br>(WebEx) | 36         | 37         | 73 |

### 3. 講演会の分析・評価 (Check)

講演会実施の成果を検討するために、参加者アンケートを実施した結果、以下の意見等が示され、学内の障がいのある学生に対する支援体制について検討する必要性が認められた。

- ・鹿児島大学では、障害学生支援センターを修学支援室と呼び代えるなど、いろいろと配慮していることが理解できた。障害区別ごとの合理的配慮対応例がとても参考になった。
- ・障害の区別ごとに、鹿児島大学における取組や課題を豊富な具体例を交えながら解説いただいたので、何をどのように配慮しなければならないのか考えやすかった。
- ・合理的配慮の多様性と具体例がわかったことがよかった。障がいのパターンやその対応例について学ぶことができた。
- ・合理的配慮の実例を提示していただき、分かり易かった。特に発達障害等の対応についての教示で、理解が深まった。
- ・障がい者支援について、知っておかないと対応できないなと思うことがあった。
- ・今回の研修を受けることで、合理的配慮等わかっているようで、実はよくわかっていないところ等、再確認するところがあった。
- ・障がい支援に関する全般的な制度や考え方についても触れられていたのがよかった。また、この法律が学生だけではなく、国公立機関で働く教職員も対象である点は気づいていなかったもので、とても大きな学びになった。
- ・合理的配慮の内容を決定するには、授業の評価方法等を変えないで良いということが伝わった。

- ・高校、養護学校とは違う、大学ならではの配慮を要する学生について話が聞けたことが良かった。
- ・本学における障がい学生支援は、入学試験と一緒に検討する必要があると改めて感じた。
- ・障がいごとに対応が異なることを再認識できた。外見では判断できない、障がい者対応は難しいと感じた。
- ・障害の有無に関わらず、自分と他の人は異なる考えを持ち、伝え方によっては理解されないことを念頭におくこと、伝えることの重要性を改めて実感した。
- ・教員はもちろんであるが、学生にも障がい者支援の考え方そのものを伝えていきたいと思う。
- ・合理的な配慮の進め方として、教職員からの一方的な支援のみではなく、本人からの配慮の申し出のうえで成り立つこと、双方向性の重要性を感じた。学生視点から申し出までのハードルはとても高く感じるが、制度の浸透化、周りが理解してくれる環境づくりの大切さを職員として改めて認識した。
- ・今回の講演では、どうにもできない重苦しい題材を、我々の理解が進むように学習支援の現場を通した事例を踏まえて解説して頂けたことが有難く感じた。
- ・本学でも、長期履修制度は必須だと気が付いた。また、対象学生の緊急時の対応マニュアルもないので、個別にはなるとは思うが、担当する教員としては必ずほしいものであると感じた。その他、特別な配慮が必要な学生であること（なぜかは除く）を伝えることが問題ないとなり、少し安心した。
- ・長期履修や就労支援など、本学が取り組むべき課題と、取り組むにあたっての取り組み（就労支援をしてくれる県内企業の存在等）を知る機会となった。
- ・開催時期、時間、開催方法とも、今回と同様で問題ないと思う。障がいについては、大きなトラブルになる可能性があるので、毎年、講演会を開催された方がよいと思う。
- ・対面とオンラインのハイブリッド形式での開催で、多くの教職員が聴講できたことは素晴らしい。
- ・以上の本FD講演会に対する感想および意見等により、障がいのある学生に対し、多くの参加者が合理的配慮について考える良い機会になったと考える。とくに、具体的な事例を交えてご講演いただいたことにより、合理的配慮に対する理解が促進されたと考える。また、鹿屋体育大学における教育の在り方そのもの、大学としての学生支援の体制について検討する材料になったと考える。

#### 4. 次年度以降の改善点等 (Action)

- ・自身の教育活動で当てはまることもあり、発達障害の自覚がない学生の事例への対処について知りたかった。
- ・大学に配慮要請を行わず、個別に特例的な対応を求めてくる学生もいるため、他の学生に対して説明ができないケースも出てきている。このようなケースに対する対応についても詳しく勉強してみたい。
- ・ゼミで卒論等の指導をしていくうちに、発達障害と思われるケースがゼミ生に現れ、指導する側がストレスを感じたことがあったことから、その対処法について知りたかった。
- ・事例を多く紹介していただけるような講演内容を希望する。
- ・事前にオンデマンドでの講演内容を視聴し、対面による質疑やグループディスカッション

をしては如何か。時間はかかるが、より教職員間での理解や連携が深まると考える。FD 研修会と連動してもよい。

- ・今回のように、実際ほかの大学がどのように具体的に支援を行っているか知ることは、本学の今後を考えるに当たって重要だと思う。本学は体育大学という特別な単科大学でもあるため、ほかの体育大学の取り組みについても知りたい。
- ・合理的な配慮が必要な学生への就労支援については先行大学も少ないため、講演会等で取り上げていただけると助かる。
- ・具体的に本学が今後取り組もうとしている内容を知る機会があれば良いと考える。例えば、講義棟や大学院棟にはエレベーターを設置するのか、パラ選手の受け入れ見込みはどの程度あるのか、障害などを理由とした遅刻者・欠席者への対応策としての授業の録画などである。
- ・オンラインの視聴では音声が届きにくい部分があったが、内容としてはとても勉強になった。授業の実施方法など、あらためて検討する必要性を感じた。
- ・他者が考えていることは周りからは理解し難いため、障がい学生支援に限らず、学生への支援はどこまで踏み込むことがよいのか悩むところだと感じた。教育機関であることを踏まえつつ学生に寄り添いながら、その時点でのマンパワーや予算の中で対応をしていければよいと思う。
- ・職員として、障がいのある学生への言葉かけがもっとも関心があることの一つである。学生によっては、障がいへの偏見がある中で自分がそうってしまったことへの焦燥感や嫌悪感があると思う。とくに精神障害など、後天的な症状の発症によって親との関係が悪化した学生もいると思う。ヘルプを言い出せない中で、ようやく職員に打ち明けようとした学生にとって、最初の声掛けを間違えたら、それこそ取り返しがつかないような、学生が他人に症状を伝えることを恐れてしまうのではないかと心配にもなる。デリケートな問題なので、言葉をどうかけるべきかが大切だと思った。
- ・この時期は、年度末で大変忙しく、毎年度多くのセミナーや講演会が集中するので、できれば他のセミナーや講演会の予定（日程）を見渡して、比較的業務が忙しくないような時期に実施していただけると有り難い。
- ・今後の開催については、先生方が忙しくない時期に開催を検討いただきたい。同一イベントへの複数回のメール送信は遠慮いただきたい。公式FD イベントの場合は、最初からその旨を記載していただきたい。 イベントの直前に、この情報を教職員に知らせることは無礼だと思う。
- ・開催時間は、1 時間程度の方が参加しやすい（時間の都合が付きやすい）と感じた。
- ・教職員にとって、学生を理解することは、私たちの仕事の最も重要な部分の 1 つであり、学生のニーズとメンタルヘルスに焦点を当てたイベントをもっと開催していただきたい。
- ・以上の意見を参考として、FD 推進専門委員会として今後、他大学等での先駆的な取り組み事例等を共有する機会を設け、本学の状況に対応させた取り組みに転換するきっかけを作ることを目指して、教職員のニーズに即した FD 講演会の内容を検討していきたいと考える。
- ・上記に加え、例年であれば年度末に各講習会やセミナーが開催されることも多く、担当部署を越えて適切な開催時期や方法について議論することも必要かもしれない。

（研修担当者・文責：吉田剛一郎、村上俊祐、日下知明）

## 令和4年度「障がい学生支援に関する講演会」について

### 1. 目 的

障がいのある学生への修学支援について具体的な事例や対応方法等について知ることにより、学内の障がい学生支援への理解と機運を高め、学生支援の充実を図ることを目的とする。

### 2. 日 時

令和5年2月28日(火)13:30～15:30

### 3. 実施方法

対面もしくはオンライン(webex)にて実施

希望があれば後日オンデマンド配信

### 4. 対象者

全教職員

### 5. 講 師

鹿児島大学障害学生支援センター特任助教・臨床心理士 今村 智佳子 氏

### 6. 内 容

障がい学生に対する合理的配慮について

# TA 研修会

## 1. 研修会の実施計画 (Plan)

「令和4年度 TA 研修会実施要項」(23 頁)を参照のこと。

## 2. 研修会の実施状況 (Do)

| 研修会  | 開催日<br>(研修担当者)      | 開催時間              | 場所    | 計   |
|------|---------------------|-------------------|-------|-----|
| 第1回目 | 令和4年4月6日<br>(下川・村田) | 16時00分～<br>17時00分 | オンライン | 29名 |
| その他  | 教務課で個別対応            |                   |       | 5名  |
| 合計   |                     |                   |       | 34名 |

## 3. 研修会の分析・評価 (Check)

研修会の効果を検討するために、参加者アンケートを24頁のとおり実施した。  
その結果、以下の点が明らかになった。

- ① 研修会の内容について理解でき、TA活動に役立つ可能性があるとの回答が高い割合となった。
- ② 授業科目ごとの説明を希望する意見があった。
- ③ TA経験者の体験談やプロフェッショナルという言葉が印象に残ったとの回答が見られた。
- ④ アカデミックポストにつく上でTAが教育実績として認められるというメリットを認識できたとの回答が見られた。

## 4. 次年度以降の改善点等 (Action)

昨年度(令和3年度)に続き、今年度もオンラインでTA研修会を実施した。参加者からは概ねTA活動に関する内容が理解できたと回答を得た。特にTA経験者の体験談が印象に残ったとの意見が見られたことから、この取り組みについては継続したいと考える。

一方で、授業科目ごとの説明会を希望するとの回答が見られた。体験談を依頼したTA経験者はそれぞれ講義、演習、実技を担当しており、授業科目ごとの違いについても言及があったが、まだTAを経験していない学生にとってはイメージが湧きづらいのかもしれない。次年度はこの要望に応え得る内容を追加するかどうか検討が必要と考える。

TAには学部の授業での補助業務を担当し、その対価として手当が支給されるため、業務内容や職務を理解する機会は不可欠であり、TA研修会がその機会を担っている。FD推進専門委員会では今後も内容や時間、実施方法などを改善しながら、TAの意識醸成に繋がる研修会を実施していきたい。

(研修担当者・文責：村上俊祐)

## 令和4年度 TA 研修会（事前研修会）実施要項

### ●目的：

本研修会は、大学院生に授業担当教員の教育補助員（TA：Teaching Assistant）として、学部学生の教育・指導を授業担当教員とともに適切に行えるようにするために行うものです。

当該研修会は、毎年必ず受講する必要があります。

### ●対象：

本学大学院生で、令和4年度に TA を希望する学生。

### ●開催日時及び場所：

日時：令和4年4月6日（水）16:00～17:00（1時間程度）

場所：オンラインで実施

### ●事前研修の内容

- ・ TA とは何か
- ・ 事前研修会の趣旨説明
- ・ TA の意義や機能（大学教員への準備教育、TA のメリット）
- ・ TA の実践報告（前年度雇用学生から）
- ・ TA の仕事（業務内容）
- ・ TA ハンドブックの概説（注意事項等を含む）
- ・ 授業担当教員との関わり方
- ・ TA の実施に向けた事務手続き
- ・ 質疑応答

### 【配付資料】

- ・ 鹿屋体育大学 TA ハンドブック及び補足資料
- ・ 教務手帳の一部抜粋（鹿屋体育大学教育理念、ディプロマ・ポリシー、教育目標、カリキュラム・ポリシー等）
- ・ 大学教員を目指す人の準備講座テキスト
- ・ 事前研修会のアンケート（Web）

## T A研修会アンケート結果

開催日：令和4年4月6日 16時00分～（オンライン）

参加者：29名

| 質問内容                                                                                     | はい | いいえ | わからない |
|------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----|-------|
| 研修の内容は適切だったと思いますか（全体）                                                                    | 29 | 0   | 0     |
| 「T Aとは何か」理解できましたか                                                                        | 29 | 0   | 0     |
| T Aの意義や機能を理解できましたか                                                                       | 29 | 0   | 0     |
| T A経験者の体験談は参考になりましたか                                                                     | 20 | 0   | 9     |
| T Aの仕事（業務内容）を理解できましたか                                                                    | 29 | 0   | 0     |
| T Aハンドブックの全体像は理解できましたか                                                                   | 29 | 0   | 0     |
| 授業担当教員との関わり方は理解できましたか                                                                    | 29 | 0   | 0     |
| T Aの実施に向けた事務手続きは理解できましたか                                                                 | 29 | 0   | 0     |
| 研修の開催時期は適切であったと思いますか                                                                     | 29 | 0   | 0     |
| （研修の開催時期を変更するとすれば、いつがよろしいですか）<br>・このままで良いと思うが、変更するなら履修期間が終わった後が落ち着いて研修を受けられる気がした。        |    |     |       |
| 研修の時間は適切であったと思いますか                                                                       | 29 | 0   | 0     |
| （研修の時間を変更するとすれば、どれくらいがよろしいですか）<br>・特に時間に不満は無かったが、変更するなら40分。今回のスライドの説明が20分程度で終了したため。 ・1時間 |    |     |       |
| 研修はあなたのT A活動の役に立ちそうですか                                                                   | 27 | 0   | 2     |

●研修会で印象に残ったことがあれば記入ください。

- ☐ あくまで補助であること。 ハラスメントに気を配ること。
- ☐ 一度TAをやったことがある人は短時間で終了するシステムは良いと思った。
- ☐ プロフェッショナルという言葉が印象に残りました
- ☐ 他のTAの方の体験談を聞くことができたこと
- ☐ これから先のためにも「異なる立場で物事を見る」といった経験をしておく事は重要であると感じました。
- ☐ TA経験者からの体験談
- ☐ アカポスにつく上で、TAが教育実績として使えること

●今後、T A研修会等で取り上げると良いと思われる内容等があれば教えてください。

- ☐ 授業科目ごとの説明会があってもいいのでは無いと思う。
- ☐ 質疑応答の時間があっても良いと思います。
- ☐ TAを行うメリットについて。

●その他、研修会の感想や、TA活動時に感じていることなどで発言できなかったことなどありましたらご自由に記入ください。

- ☐ TAを行うメリット(特にアカポスにつうえでの教育実績として使えること)は研修を受けていてなるほどと思いました。

## T A実施アンケート（在学生用）結果

開催日：令和4年4月6日 16時00分～（オンライン）

回答者（研修参加者のうち在学生）：21名

| 質問内容                 | はい | いいえ |
|----------------------|----|-----|
| あなたは、T A採用を希望していましたか | 20 | 1   |

| 質問内容                         | はい | 適度に<br>あった | あまりな<br>かった | 全くな<br>かった |
|------------------------------|----|------------|-------------|------------|
| 勤務前や勤務中、授業担当教員から適切な指示がありましたか | 18 | 3          | 0           | 0          |

| 質問内容                             | 同じである | ほぼ同じ | やや違っ<br>ていた | 全く違っ<br>ていた | 自分の業務内<br>容・時間を知ら<br>なかった |
|----------------------------------|-------|------|-------------|-------------|---------------------------|
| 実際に行った業務内容、勤務時間は事前に示されたものと同じでしたか | 15    | 6    | 0           | 0           | 0                         |

| 質問内容                              | はい | いいえ |
|-----------------------------------|----|-----|
| 勤務中のあなた自身のことについて伺います。             |    |     |
| 1) 鹿屋体育大学のスタッフであるということを自覚して働けましたか | 21 | 0   |
| 2) 自身の学業を両立できましたか                 | 21 | 0   |

●業務を行ってみての問題点、改善すべき点、T A制度に関する提案等があれば記入してください

○従事時間報告書の時刻のところがそのまま記入して印刷をすると「\*\*\*\*」のようになってしまうので、フォントを小さく設定して欲しいです。

# 学外研修

## 1. 学外研修会参加の計画 (Plan)

本学での授業改善や教育の質保証を担保するためにも戦略的な学外研修に取り組むことは必要不可欠である。そのようなことから、本企画では本学教員が積極的に他大学や団体の研究者らによる実践例やその成果に関する情報を得ること、また学内でのFDを先導するFDデベロッパーを養成する必要があることから、本学教員の学外でのFD関連の研修会への参加を支援する。

令和4年度は32頁のとおり、学内へ参加者を公募した。

その結果、以下の研修への応募があり、実施した。

## 2. 学外研修会の参加状況 (Do)

### ●研修名：令和4年度教職員・情報通信技術支援員（ICT支援員）著作権講習会

「教育機関における著作物利用と知財教育」

- ・研修参加者：梶 ちか子（スポーツ人文・応用社会科学系）
- ・日時：2022年8月25日（木）13：00～15：50
- ・会場：オンライン
- ・参加者：約200名（ライブ配信時）、オンデマンド配信約8,000回視聴（大学教員・職員、ICT支援員など）
- ・主な内容
  1. 「授業目的公衆送信補償金制度の現状と留意点」  
野方 英樹氏：一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会（SARTRAS）理事
  2. 「知財創造教育の実践～インターネット上の海賊版被害の現状を踏まえて～」  
伊東 敦氏：集英社 編集総務部 部長代理、一般社団法人ABJ 広報部会長 兼 法務部会長  
原口 直氏：東京学芸大学こども未来研究所教育支援フェロー

### ●研修名：令和4年度FD・SD 合同フォーラム 「教育のDX化に向けたアクティブ・ラーニング再考」

- ・研修参加者：和田 智仁（スポーツ人文・応用社会科学系）
- ・日時：2022年11月11日（金）
- ・会場：オンライン
- ・参加者：最大時77名（大学教員・職員など）
- ・主な内容
  1. 開催挨拶：前田明（鹿屋体育大学理事）
  2. 事例報告①：「鹿児島高専遠隔授業実施から」岸田一也（鹿児島高専教授）
  3. 事例報告②：「授業DX化のための初めの一歩」太田秀春（鹿児島国際大学教授）
  4. 事例報告③：「対話から始める授業改善」内田豊海（鹿児島女子短期大学准教授）
  5. パネルディスカッション

### ●研修名：教育の質保証実践セミナー

学修成果の可視化の実質化と教学マネジメントの確立

魅力ある教育に繋げるための～組織運営の枠組み・学内合意の形成・情報システムの整備～

『学修成果の可視化』の後にすべきこと」

- ・研修参加者：関 朋昭（スポーツ人文・応用社会科学系）  
梶 ちか子（スポーツ人文・応用社会科学系）  
村上 俊祐（スポーツ・武道実践科学系）
- ・日時：2022年12月1日（木）または12月2日（金）

- ・会場：オンライン
- ・参加者：約 100 名（大学教員・職員など）
- ・主な内容

セッション① 学習成果の可視化で求められていること～カリキュラムの継続的向上活動を促す～

学修成果の可視化が求められている背景を確認し、求められていることの意図及び何にどこまで取り組めば良いかのかを考察する手掛かりについてまとめられていた。

セッション② カリキュラムの継続的向上活動を促す学習成果の可視化

～学生にリフレクションを促し、分析結果を学科にフィードバックする基盤～

「学びと成長しくみデザイン研究所」がこれまで複数の高等教育機関と試行錯誤を繰り返した結果生まれてきた、多くの組織で実行しやすい運用モデル及びそれを実行可能にするための情報システムについて報告された。

セッション③ カリキュラムの継続的向上活動に取り組むうえでのよくある問題とその対処法

カリキュラムの継続的向上活動に取り組もうとした際、よく出てくるブレーキをかける意見について、どのように理解し、整理すると合意形成できるか、論点整理のポイントが紹介された。

セッション④ 教学マネジメントの運用モデル

～教育力を継続的に向上し、中退を減らし、募集力を高めるための仕組みづくり～

桑木 康宏氏（学びと成長しくみデザイン研究所）

「学びと成長しくみデザイン研究所」が複数の大学を支援しながら整理を進めた教学マネジメントを機能させるためのモデルについて報告された。そのうえで、当日の参加者からリアルタイムアンケートを実施し、それぞれの組織の実態と、共感ポイントと異なるポイント等を共有しながら、教学マネジメントのしくみづくりで大切なポイントについて議論が深められた。

#### ●研修名：2022 年度分野連携アクティブ・ラーニング対話集会

- ・研修参加者：関 朋昭（スポーツ人文・応用社会科学系）
- ・日時：2022 年 12 月 17 日（土）
- ・会場：オンライン
- ・参加者：約 145 名（大学教員・職員など）
- ・主な内容

分野連携アクティブ・ラーニング対話集会として、多種多様な議論が行われた。以下がその一部である。

○学修者の学びの個別最適化に向けた先生の対応について

○遠隔授業の実施状況とその方法

○質の高い学修を目指す「反転授業」について

○「問題発見・課題設定解決型教育（PBL）」について

○ハイブリッド授業（ブレンド型、ハイフレックス型）に求められる学修プラットフォーム機能の強化対策について

#### ●研修名：令和 4 年度 鹿児島県総合教育センター 調査研究発表会

「1 人 1 台端末時代における新たな学校教育の在り方」

- ・研修参加者：梶 ちか子（スポーツ人文・応用社会科学系）
- ・日時：2023 年 1 月 27 日（金）
- ・会場：オンライン
- ・参加者：約 100 名（大学教員・職員など）
- ・主な内容

学校における ICT 活用の課題解決や充実等に向け、授業デザイン、遠隔授業、特別支援教育、生徒指導の観点から研究協力校の実践を基に進められた研究成果について発表されていた。

参加した「授業デザイン」の分科会では、「子供の学びに着目し、ICT を効果的に活用した授業デザ

イン」をテーマに、総合教育センターより「本県の ICT 活用の状況と子供や教職員の意識」の研究発表の後、小学校 3 校、中学校 1 校、高等学校 1 校の系 5 校から事例発表が行われた。保健体育を含む様々な教科での ICT の活用事例が紹介され、児童・生徒の資質・能力の向上に寄与する可能性が示されていた。一方で ICT 活用の課題も挙げられ、ミーティングチャットを通して、各参加者間から情報共有・情報交換がなされた。

●研修名：教育 DX（デジタルトランスフォーメーション）セミナー・展示会

・研修参加者：和田 智仁（スポーツ人文・応用社会科学系）

迫田 和之（スポーツ人文・応用社会科学系）

・日時：2023 年 3 月 15 日（水）

・会場：広島大学霞キャンパス 又は オンライン

・参加者：約 40 名（大学教員・職員など）

オンライン参加も「多数」と紹介があった

・主な内容

1. デジタルを活用した大学高専教育高度化プランの概要説明 小澤孝一朗（広島大学 副学長）
2. 広島大学における LMS の増強拡張 隅谷孝洋（広島大学 教授）
3. VR による病理学実習教材開発 北澤荘平（愛媛大学 教授）
4. 高大接続教材「高校生から地域課題研究入門 そもそも」の開発 鹿住大助（島根大学 准教授）
5. 熊本県立大学における DX 推進の取組 飯村伊智郎（熊本県立大学 教授）

3. 学外研修会参加に対する評価（Check）

●研修名：令和 4 年度教職員・情報通信技術支援員（ICT 支援員）著作権講習会

「教育機関における著作物利用と知財教育」

今回の講習は、著作権に関する事項について「教育」に関わる部分に特化して展開された。著作物は多くあるが、その具体例や、使用する際に必要な手続き、許諾の取得方法等が示しながら解説がなされた。しかしながら、授業等、教育で著作物を扱う場面は多様であり、すべての場面で対応できる対処法はない。したがって、手続きが必要か否か、また手続き方法が不明な際は、その都度文化庁や関連機関に問い合わせながら、安心安全に使用する必要があることが理解できた。

また、現在の学習指導要領では音楽や美術、技術、情報等の中で、著作権について学習する機会があり、初等教育レベルから、子ども達は、著作権や知的財産権等について触れていることを知った。GOGA スクール構想が進み、一人一台端末が実現されつつある現在、子どもの頃から様々な創作物に関する権利に知ることとは大変重要であると考えられる。だからこそ、私たち周りの大人が、正しく、最新の知識を習得し、学び続ける姿勢を示すことは必要不可欠であると実感した。

著作物の利用に関しては、大変複雑・煩雑で、混乱することも多いが、私たち教員は、学びを止めることなく、今回のような研修の機会を大切にしていきたい。

●研修名：令和 4 年度 FD・SD 合同フォーラム 「教育の DX 化に向けたアクティブ・ラーニング再考」

「本フォーラムの目的は、大学地域コンソーシアム鹿児島加盟各機関が令和 2 年度以降取り組んできた遠隔授業の知見を踏まえ、今後の対面授業及び遠隔授業の改善に向けた知見を得ることにある。アクティブ・ラーニングの拡充など、コロナ禍以前に重視されてきた教育上の課題に加え、現在は教育の DX 化を初めとする新たな課題も生じており、高等教育における教育の再定義が求められているともいえる。

しかし、それは必ずしも教育を一変させる必要性を意味するものではない。これまでの実践で得られた経験値を踏まえ、地に足の着いた教育の改善への地道な取り組みが必要である。本企画において共有された経験値が、各機関の教育改善、さらには教育の再定義に向けた足掛かりになることを期待する。」（開催要項より）

事例報告①では、鹿児島高専における遠隔授業の取り組み事例が紹介された。事例報告②では、鹿児

島国際大学におけるオンデマンド授業を作成する教員を支援するために学生アシスタントを導入した事例が紹介された。事例報告③では、鹿児島女子短期大学におけるオンライン授業研究などのFD活動の取り組みが紹介された。

パネルディスカッションでは、学生アシスタントの事例からアシスタント学生の授業への参画の可能性や、コロナ禍での教員・職員間コミュニケーションの取り方、アクティブ・ラーニングの実現方法などが議論された。

教育のDX化に向けて各大学の状況が報告されたが、大学の特色に応じた対応が必要ということもあり、なかなか難しい問題であると感じた。

●研修名：教育の質保証実践セミナー

学修成果の可視化の実質化と教学マネジメントの確立

魅力ある教育に繋げるための～組織運営の枠組み・学内合意の形成・情報システムの整備～

教学マネジメントを行うためには、学内における組織的な形式の改善を試みても、なかなか機能しないことを理解することができた。教学マネジメントを機能させるためには、学内の合意形成が必須ですが、まずはリーダー（マンパワー）の働きかけが第一歩となります。逆説的にはそれしか無いといえます。リーダーがフォロワーと対話（コミュニケーション）するための場の設定が鍵になると思いました。

●研修名：教育の質保証実践セミナー

学修成果の可視化の実質化と教学マネジメントの確立

魅力ある教育に繋げるための～組織運営の枠組み・学内合意の形成・情報システムの整備～

「学びと成長しくみデザイン研究所」がこれまで複数の大学で実際にサポートされてきた各大学の事例に基づき、学修成果の可視化と教学マネジメントについて多角的視点から整理されたポイントを分かりやすく紹介していただいた。

それぞれの大学によって多少の違いはあるものの、教員・職員間の意思疎通をスムーズにし、大学の教職員「全員」「全体」を巻き込み、どのように組織を一体化させたカリキュラムの継続的向上活動を実施していくのか、という点に共通の課題点があることが理解できた。本学は、学修成果の可視化や教学マネジメントについては、FD推進専門委員会や教育評価・評価室が中心となって既に取り組まれており、そこから教務委員会・研究科教務委員会へとつながる仕組みがある程度確立されていることや、また小規模な大学のメリットを生かしてそれぞれの教員や職員の意見を発信・共有できる場が他大学と比較すると設定しやすいと考える。また今後の大学の機構を中心とした取組も、教学マネジメントの実施に深く関与できる仕組みである。

したがって、これからも現在既に存在する仕組みを活用しつつ、時代や地域、そして何より学生のニーズを常に把握しながら、スピード感ある取組を大学の教職員が一体となり実施できる体制を整えていきたい。

●研修名：教育の質保証実践セミナー

学修成果の可視化の実質化と教学マネジメントの確立

魅力ある教育に繋げるための～組織運営の枠組み・学内合意の形成・情報システムの整備～

カリキュラムマネジメントの確立、学習成果の可視化が求められる背景について、改めて認識する機会となった。実際どのように教育力を継続的に向上していくかという点についても、カリキュラムの連携運用や学生のリフレクションを促す授業改善など活用可能な部分が多く、非常に有意義な研修となった。加えて、「4種類の会議（発散型の検討機会、収束型の検討機会、優先度の検討機会、意思決定の機会）の使い分け」という話にあったように、研修で得られた情報を学内で共有する、共有された情報をもとに議論する場の設定が必要であると感じた。

●研修名：2022年度分野連携アクティブ・ラーニング対話集会

FD による質保証のコンセンサスを促進するための課題については、学部・学科としてディプロマポリシーと授業との関連付けのモニタリング化の促進、ティーチングポートフォリオ等で授業成果(授業と学修改善の関係性)の振り返りを努力義務化し、学内で共有する仕組みづくり、学内の教員・職員・学生、第三者が参加する FD 活動に年次計画で全教員が参加する仕組みづくり、などが挙げられた。しかしながら、これらの課題解決には、学内コンセンサスもさることながら、教員負担が高い。どのように折り合いをつけるのかは難しい問題だと感じた。

●研修名：令和4年度 鹿児島県総合教育センター 調査研究発表会

「1人1台端末時代における新たな学校教育の在り方」

GIGA スクール構想2年目となり、小・中・高等学校の学校現場において、どの程度、ICT 端末が活用され、先生方や児童・生徒の中で使いこなされているのかを知る大変良い機会となった。発表された事例では、動画を撮影・振り返り等、オーソドックスな使用法のみならず、クラウド機能や、ロイロノートをはじめとしたシンキングツールの活用など、様々な場面で非常に積極的に ICT を活用し、また校内研修において教員間で情報共有するなど、理想的な取り組みが多く見られた。特に保健体育授業での活用例が多く発表され、本学の教員養成を担う科目においても、現場の実態を捉えて、ICT を用いた最先端の授業づくりの方法をレクチャーする必要があると実感した。

一方で、全ての事例発表やミーティングチャットの意見交換においては、共通して、教員間の ICT 活用に対する温度差や、従来の取組を ICT に置き換えることの難しさ、教員の授業観の転換、特に ICT で調べればわかることを学習させる際の意義や教員の働きかけをどのように行うのか、アナログとデジタルのバランス等について課題が見られることも明らかとなった。

本学の学生達、そして何より私達教員も、1人1台の ICT 端末が配付される以前の授業しか体験していないため、学校現場の最先端の情報を常に取り入れることはもちろん、ICT 活用の課題もしっかりと把握し、新たな活用方法を思考できるレベルまで大学の授業内容を深化させていきたいと考えた。

●研修名：教育 DX (デジタルトランスフォーメーション) セミナー・展示会

開会挨拶において、八尋氏が述べたスピーチの冒頭部分が、実は八尋氏が「教育 DX」などのキーワードを用いて AI によって生成したものであったことが明かされ会場がどよめいた。確かに、非常に自然な日本語で、種明かしされなければ気づかなかったであろう内容であった。

各大学からの報告や、展示会も興味深いものばかりであり、先端的な取り組みの一部を垣間見ることができた。医学における VR を用いた診察トレーニング、農学での仮想農場実習など、実習系での取り組みの紹介があったが、本学でも実習系の教育で取り入れることができれば有効なケースも多いではないかと感じた。

●研修名：教育 DX (デジタルトランスフォーメーション) セミナー・展示会

本研修会は、教育 DX (デジタルトランスフォーメーション) の取組紹介と「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」で開発したデジタル教材の利用促進を目的として、広島大学・霞キャンパスで開催された。

デジタルを活用した大学高専教育高度化プランについて小澤孝一朗先生(広島大学 副学長)からは、デジタルを用いた大学間連携に関するもの、広島大学の実験実習におけるデジタル化に関するものの概要の説明があった。

広島大学における LMS の増強拡張の取組について隅谷孝洋先生(広島大学 教授)からは、LMS を BlackBoard から moodle (どちらも LMS の一種) への変更により、動画配信や LMS での障害がかなり少なくなったとの説明があった。

VR による病理学実習教材開発の取組について北澤荘平先生(愛媛大学 教授)からは、コロナ禍での病理実習(これまでは実際に顕微鏡等を用いて細胞を観察)に VR を用いて自宅で実習ができるツールの開発に関して説明があった。

高大接続教材「高校生から地域課題研究入門 そもそも」の開発の取組について鹿住大助先生(島根

大学 准教授)からは、共通試験を用いない育成型入試の説明があり、入学前の e-learning 教育の紹介があった。

熊本県立大学における DX 推進の取組の説明をされた飯村伊智郎先生(熊本県立大 教授)からは、2021 年に熊本県立大学で発足された DX 推進プロジェクトチームの紹介し、そこで行われた DX 内容、LMS の整備、情報ネットワーク・セキュリティの整備や熊本県と連携し DX による地域課題解決の説明があった。

これらの研修を通して、情報基盤システムや学内 DX 推進の知見を得ることができた。また、本講義のほかに展示会も開催され、実験実習の VR か機器の展示などがあった。これらのコンテンツはコロナ禍での遠隔授業のため、学生の自学自習コンテンツとしても有効であると感じた。本研修を通して、情報基盤や DX 推進だけでなく、授業コンテンツに役立つ内容を学ぶことができたため、今後の学内業務及び授業に実践できるようにしたいと感じた。

#### 4. 今後の学外研修に向けて (Action)

- ・今年度は、6 つの研修会にのべ 9 名(重複 3 名)の教員が参加した。昨今推進されている教育の DX 化に関わる内容、学習成果の可視化に関わる内容、アクティブ・ラーニングに関わる内容などについての研修会であった。これらの分野における現在の潮流や個別の取組事例などに関して、貴重な情報を得ることができた。
- ・多くの研修会がオンライン(または対面とオンラインの併用)で開催することが主流であったことから、参加しやすい環境が整っていたと考えられる。今後も、様々な学外研修の情報提供を積極的に行い、教員の研修機会の確保に努めていく必要があると考えられる。
- ・研修で得た情報の共有を行っていく必要があると考える。また、これらの研修会で得られた情報を、本学の実態に合わせてどのように活用することが可能なかを検討していくことも今後の課題である。

(担当者・文責：榮樂洋光、日下知明)

## 学外で実施されている能動的学修のワークショップ・研修会等一覧

|    | 研修会名                                                                                              | 日時                                                               | 場所                                               |
|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|
| 1  | 株式会社朝日ネット<br>2022年度 第2回教育の質保証・質向上<br>オンラインセミナー<br>「教育の質保証のために現場でできる<br>取り組み紹介」                    | 令和4年7月8日(金)<br>16時～17時                                           | オンライン開催                                          |
| 2  | 四国地区大学教職員能力開発ネット<br>ワーク<br>SPODフォーラム2022<br>「変容する社会ニーズに応じた学びのあり方」                                 | 令和4年8月24日(水)～<br>令和4年8月26日(金)                                    | オンライン開催                                          |
| 3  | 文化庁<br>令和4年度教職員・情報通信技術支援<br>員(ICT支援員)著作権講習会<br>「教育機関における著作物利用と知財<br>教育」                           | 令和4年8月25日(木)                                                     | オンライン開催                                          |
| 4  | 公益社団法人 私立大学情報教育協会<br>「～教育の質向上を目指すICT利用～<br>2022年度ICT利用による教育改善研究<br>発表会」                           | 令和4年8月25日(木)10時～18時                                              | オンライン開催                                          |
| 5  | 公益財団法人 大学セミナーハウス<br>第12回新任教員研修セミナー<br>「ポストコロナのアクティブ・ラーニング」                                        | 令和4年8月29日(月)～<br>令和4年8月31日(水)                                    | 2泊3日の合宿研修<br>大学セミナーハウス<br>(東京都八王子市下<br>柚木1987-1) |
| 6  | 北海道FDSDフォーラム2022                                                                                  | 令和4年9月2日(金)                                                      | オンライン開催                                          |
| 7  | 関西学院大学高等教育推進センター主<br>催 2022年度FD講演会<br>「大学の授業と著作権・個人情報保護」                                          | 令和4年9月7日(水)<br>13:30～14:30                                       | オンライン開催                                          |
| 8  | 令和4 年度FD・SD 合同フォーラム<br>「教育のDX 化に向けたアクティブ・<br>ラーニング再考」                                             | 令和4年11月11日(金)<br>15:00～17:00                                     | オンライン開催                                          |
| 9  | 教育の質保証実践セミナー<br>学修成果の可視化の実質化と教学マネ<br>ジメントの確立<br>魅力ある教育に繋げるための～組織運<br>営の枠組み・学内合意の形成・情報シ<br>ステムの整備～ | 令和4年12月1日(木)<br>令和4年12月2日(金)<br><br>13:00～17:30                  | オンライン開催                                          |
| 10 | 2022年度分野連携アクティブ・ラーニ<br>ング対話集会                                                                     | 令和4年12月17日(土)<br>13:00～17:00<br>※分野によっては別日開催                     | オンライン開催                                          |
| 11 | 令和4年度 鹿児島県総合教育セン<br>ター 調査研究発表会<br>【全体概要】<br>1人1台端末時代における新たな学校<br>教育の在り方」                          | 令和5年1月27日(金)                                                     | オンライン開催                                          |
| 12 | 令和4年度徳島大学全額FD推進プログ<br>ラム<br>第18回大学教育カンファレンスin徳島                                                   | 令和4年12月27日(火)                                                    | オンライン開催<br>一部対面会場                                |
| 13 | 鹿児島大学主催<br>令和4年度 学生との向き合い方を考え<br>る研修会                                                             | 令和5年2月20日(月)<br>13:30～14:40 (Zoom参加者)<br>13:30～16:00(対面参加者)      | オンラインor<br>対面会場                                  |
| 14 | 公益財団法人 大学コンソーシアム京<br>令和4年度 第28回 FDフォーラム<br>「多様な学びの支援に求められる挑戦<br>と選択」                              | 令和5年2月18日(土)<br>令和5年2月23日(木)<br>令和5年2月24日(金)<br>令和5年2月25日(土)     | オンライン開催<br>(一部ハイブリッド)                            |
| 15 | 教育DX(デジタルトランスフォーメーショ<br>ン)セミナー・展示会                                                                | 令和5年3月15日(水)<br>13:30～17:15<br>(受付開始13:00)                       | 現地及びオンライン<br>(Zoom)                              |
| 16 | 大学スポーツの振興に向けたDX活用<br>術<br>～学生の自走を支援するナレッジマネ<br>ジメント～                                              | 令和5年3月23日(木)12:00～13:00<br>24日(金)15:00～16:00<br>27日(月)9:00～10:00 | オンライン(Zoom)                                      |

# プレFD研修

## 1. プレFD研修会参加の計画 (Plan)

本学の大学院生、特に博士課程の学生は修了後に自らが身に付けた学識等を高等教育機関において教授することが見込まれる。そのためには必要な能力を培うための機会を設けることが必要である。そのようなことから、FD推進専門委員会では本学大学院生の学外でのFD関連の研修会への参加を支援し、プレFD研修としての機会を提供することとしている。

## 2. 学外研修会の参加状況 (Do)

### ●研修名：公益社団法人全国大学体育連合 2022（令和4）年度大学体育指導者全国研修会

- ・研修参加者：小松 崇志（大学院博士課程3年生）
- ・日時：2022年8月21日（日）～8月24日（水）
- ・会場：北海道札幌市 札幌国際大学
- ・参加者：約30名
- ・主な内容と所感

本研修会は、大学体育教員の体育・スポーツ実技のリテラシー向上、各大学や個人のカリキュラム開発に役立てることを目的とし、上記日程の4日間に渡り、下記内容にて全国大学体育連合70周年記念講演・パネルディスカッションが約3時間、実技研修が3日間で計13時間半実施された。

#### 【1日目】

○70周年記念講演：「第3期スポーツ基本計画に基づく東京オリ・パラ大会のスポーツ・レガシーの継承・発展について」（スポーツ庁政策課企画調整室長・日比謙一郎氏）

東京オリ・パラ大会に向けた第2期スポーツ基本計画を踏まえ、第3期スポーツ基本計画では東京大会の無形・タ景のスポーツ・レガシーの継承・発展に向けて取り組んでいく施策についての紹介があった。その中で私自身に関係する部分として、国際的な競技力の向上だけでなく、学校教育の中にDX等を取り入れながら、体力や技能の程度、性別や障がいの有無等に関わらず、運動の多様な楽しみ方を共有することができるような教育を推進していくという施策についての詳細を学んだ。

○パネルディスカッション：

#### (1) 報告「10年間の研修活動を振り返って」（武蔵野美術大学・北徹朗先生）

過去10年間の「全国研修会」および「指導者養成研修会」の実施内容と実施運営における課題についての報告があった。両研修会に共通した課題としては、いずれも実技種目によっては参加者が集まらないということが挙げられていた。今後は、各大学の状況を踏まえた種目や研修内容の検討、また学術的な背景や根拠、それを教育に活かす試みに積極的な講師の選定を実施していくとのこと。

#### (2) パネルディスカッション「大体連研修会参加の経験とその後の活動への影響」「コロナ禍の体育実技・今後の体育実技と大学体育指導者の育成について」（モデレーター：慶應義塾大学体育研究所・村山光義、パネリスト：札幌国際大学・蔵満保幸学長、武蔵野美術大学・北徹朗先生、横浜桐蔭大学・高瀬武志先生）

前半は、大体連研修会の参加によって大学体育の指導にどのように活かされたかについてパネリストの各先生からお話があった。このように研修会に参加することで教える立場から、学生と同じように学ぶ立場になり、初心に戻ることができるとのこと。

後半は、パネリストの先生に加え、参加者の先生方のコロナ禍での実技指導の方法についての事例紹介があった。それを踏まえ、今後の指導者育成についてのお話があった。その中で現在は一般の大学では、大学体育を指導できる先生が不足しており、決まった種目しかできないといった大学もあるため、指導者研修会の参加を促したり、実施種目の充実等を図ったりし、指導者を増やしていきたいとのことであった。

#### 【2日目】

○選択別実技研修(Aコース)：ゴルフレッスン1時間30分(講師：専属プロ・内藤裕之先生)、ゴルフラウンド4時間

ゴルフレッスンでは、練習場にてゴルフ初心者に対するゴルフクラブの持ち方から4スタンス理論に基づ

いた姿勢、打ち方等の指導のポイントを実践しながら学んだ。主な指導ポイントとしては、ゴルフスイングは体幹の捻転動作を使ってクラブを並進運動させるイメージで行うことで、初心者でも空振りする可能性が減ること。ゴルフラウンドでは、18ホールを回りながらレッスンで学んだことを実践した。

#### 【3日目】

○選択別実技研修(Aコース)：ゴルフレッスン1時間30分(講師：専属プロ・内藤裕之先生)、ゴルフラウンド4時間

ゴルフレッスンでは、アプローチ・バンカー・パターを習得するためのトレーニング理論に基づいた指導のポイントを実践しながら学んだ。ゴルフラウンドでは、2日目とは異なるコースにて18ホールを回りながらレッスンで学んだことを実践した。

#### 【4日目】

○共通実技研修：カーリングレッスン2時間30分(講師：元オリンピックカーリング競技女子日本代表・小笠原歩先生、札幌国際大学カーリング部学生6名)

カーリングレッスンでは、初めにトークセッションとして小笠原先生のこれまでの選手として、また指導者としての競技人生を振り返ってというテーマでお話があった。その後カーリング場にて、氷の上での立ち方からストーンの動かし方、ゲームの進め方等を実践しながら学んだ。

#### 【所感】

本研修を通して、初心者に対する指導のコツを学ぶことができた。初めから一から十までを徹底的に教え込む、いわゆるティーチング方式ではなく、基礎的な部分を指導してからまずは実践をしてみて、それに対してフィードバックをする。そして、試行錯誤を繰り返しながら上達させていくといった指導の工夫の仕方があることが分かった。確かに指導者側がその競技に精通していた場合には、どうしても自分の知識を教え込みたくなってしまふ。しかしそこを我慢し、指導を受ける側が自分で試行錯誤したくなるような工夫をしてあげることが競技力だけでなく、受ける側の考える力等も育むことができ、より教育的な指導に繋がるのではないかと考えられる。今後は本研修で学んだことをICT等も活用しながら、実践したい。

### ●研修名：公益社団法人全国大学体育連合 第14回大学体育指導者養成研修会

- ・研修参加者：鈴木 功士(大学院博士課程3年生)

- ・日時：2023年3月6日(月)～3月8日(水)

- ・会場：千葉工業大学・新習志野キャンパス

- ・参加者：約50名

- ・主な内容と所感

スポーツ科学の理論と知識をベースにした、大学体育授業の充実を図り、かつ、より効率的で安全な実技指導を行うことを目的として、第14回大学体育指導者養成研修会が実施された。

1日目は研修種目である「フライングディスク」の実技講習と基調講演「教えと学びのデザイン～大学における今後の授業設計のあり方～」を受講した。2日目は研修種目である「フライングディスク」の実技講習ならびに日本フライングディスク協会「ディスクアドバイザー3級」の資格認定試験、特別講演「体育外専門分野を活かした学際的なスポーツ授業」を受講した。3日目は体験講習「レクリエーションスポーツ」を受講した。

研修を通して「教えと学びのデザイン」の重要性に気づき、各講師の「教えと学びのデザイン」のすばらしさに感銘を受けた。「教えと学びのデザイン」は長尾徹 副学長(千葉工業大学)の基調講演の題名にも用いられている。長尾副学長は工業デザインを専門とされており、その思考法を学びに活用し、授業やゼミ活動をデザインされていた。なかでも評価方法のデザインが素晴らしかった。学生の自己評価と教員の評価をループさせるデザイン、レポート評価後に学生が追記したアノテーションをさらに評価するデザインなど、学びを深めるデザインが施されていた。

1日目に感銘をうけた「教えと学びのデザイン」という視点をもち2日目以降の研修を受講した。「フライングディスク」の村山光義先生からは、受講者を没入に結び付ける小道具やルールのデザイン、特別講演を担当された三村尚央先生、大貫俊彦先生からはスポーツを題材として他分野から多角的に学びを深めるデザイン、体験講習を担当された引原有輝先生からは遊びを活用したアクティブラーニング型授業のデザインを

学んだ。本研修を担当されたどの先生も「教えと学びのデザイン」が素晴らしかった。一方、私が非常勤講師として担当している授業における「教えと学びのデザイン」の低さに愕然とし、深く反省した。令和5年度から担当する授業では「教えと学びのデザイン」を実践し、学びを深める授業を実施していきたい。

### 3. プレFD研修会参加に対する評価 (Check)

コロナ禍も明けて、今年度の大学体育指導者養成研修会は対面での集合研修となった。コロナ禍が明け、各大学においても集合・対面での教養体育の授業が行えるようになり、ICTの活用も含め体育実技授業のあり方を参加者はしっかり学ぶ機会となったといえよう。特に、参加学生のコメントにあるように「教えと学びのデザイン」の重要性やその充実を図る必要性に気づいたことは、研修が有意義なものであったことを示すものであろう。

### 4. 今後のプレFD研修に向けて (Action)

当該年度のような博士後期課程の学生の大学体育関連の研修会への積極的な参加の推奨と同時に、博士後期課程の学生が在学期間を通じて将来の高等教育機関での授業開力を高めるべく、ティーチング・フェローやそれを支援するFD研修会への積極的な参加を促す仕組みづくりが期待される。 (担当者・文責：金高宏文)

## 鹿屋体育大学におけるプレFDの取り組み

令和元年12月24日  
FD推進専門委員会決定

本学では、博士後期課程学生等に対して学識を教授するために必要な能力を培うための機会の設定又は当該機会に関する情報提供として、以下の事項を実施する。

- 学生指導法や教材の作成・活用等に関するセミナーや授業の開催
  - 学内FD研修会への参加案内等
  - 授業設計に関わる資料の配付
  - 支援した学外研修会に参加した大学院生による報告やセミナーの開催
- 教育能力向上のための大学として設計し指導を行う等適切に関与したTAやTFの制度等による実践的な教育経験の機会の提供
  - TAやTFとしての授業参画
- 他大学等で行われているプレFDに関する情報提供を行う
  - 大学体育連合研修会の案内と支援
  - 大学院生等が参加可能な学外FD研修会の案内と支援

## FD 関係資料集

- 令和 4 年度授業振り返りアンケート実施結果について . . . . . 38
- 令和 3 年度教員表彰について . . . . . 47
- 令和 4 年度 FD 事業への教員参画状況 . . . . . 51
- 令和 4 年度鹿屋体育大学ファカルティ・ディベロップメント  
推進専門委員会委員名簿 . . . . . 52

## 「授業振り返り（授業）アンケート」の実施要項

### 1. 対象授業科目

- 原則は全科目対象とするが、授業科目の特性や受講生数より、以下の科目は除く。
  - ①ゼミナール・卒業研究
  - ②学外実習科目
  - ③履修（受講）人数が5名以下の科目
- なお、①と②の科目については、別途、今後アンケート内容及び方法等を検討する。
- 原則、1科目1回のアンケートとする。

### 2. アンケート方法

- 回答方法：WebClass で実施
- 記名の有無：WebClass 上で受講学生及び授業担当教員にとって無記名式の回答方法とする（学生は、実際に記名しない。学生及び授業担当教員に回答者とアンケート回答内容の紐付けがみえないように実施する）。この事項は、以下のようにアンケート内で明記する。  
このアンケートは、記入者のプライバシーを守り、今後の授業改善のために役立てます。記入内容によって記入者に不利益をもたらすことはありません。
- 実施時期：原則、定期試験前または最終授業日とする（試験終了後に実施しない）。

### 3. アンケート結果のフィードバック（結果の公表）及び授業改善の流れ

- アンケートの集計結果及びそれに対する授業担当教員の授業改善コメントを公表する。

#### 【アンケート集計結果の公表】

アンケート結果が成績評価に影響しないよう、各学期の成績評価報告書切後に授業担当教員及び受講生にWebClass 上で公表する。

- ①アンケート実施 → ②成績評価報告の切
- ③アンケート結果を受講学生及び授業担当教員に公表

#### 【授業改善コメント】

授業担当教員は、各学期の成績評価報告書切後に、成績評価内容（平均値、分布、出欠状況）等やアンケート結果を鑑みて、担当科目毎に「授業改善コメント(注)」を作成し、WebClass 上(学内者のみ)で公表する。

(注) コメントは、字数は任意としたコメントボックスを用意するとともに、記入例を提示する。

- ①教員は各授業科目のアンケート結果を基に担当科目毎に振り返りコメントをWebClass 内で記入する。
- ②授業改善コメントはWebClass 内で公表する（全教職員・学生が閲覧可能とする）。

令和4年度前期・鹿屋体育大学授業振り返りアンケート結果〔講義・演習科目〕

| 科目群  | コミュニケーション科目 | 社会・文化・自然科 | 総合科目 | キャリアデザイン科目 | 基礎科目A | 基礎科目B | 応用科目 | 実験演習科目 | 専修科目(生涯科目) | 教職  | 教職専門 | 合計   |
|------|-------------|-----------|------|------------|-------|-------|------|--------|------------|-----|------|------|
| 科目数  | 17          | 4         | 5    | 6          | 8     | 3     | 11   | 4      | 3          | 5   | 2    | 68   |
| 回答者数 | 289         | 181       | 294  | 352        | 750   | 157   | 553  | 22     | 43         | 601 | 286  | 3528 |

| 01.《自己学修に関する設問》<br>あなたは、レポートや課題に対して納得いくまで取り組みましたか。 | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |    |
|----------------------------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|
| 1. 大いにそう思う                                         | 53    | 48    | 45    | 59    | 44    | 41    | 54    | 64    | 33    | 42    | 63    | 49 |
| 2. そう思う                                            | 45    | 51    | 51    | 40    | 52    | 57    | 45    | 36    | 65    | 56    | 37    | 49 |
| 3. そう思わない                                          | 2     | 1     | 4     | 1     | 3     | 2     | 1     | 0     | 2     | 2     | 0     | 2  |
| 4. 全くそう思わない                                        | 0     | 0     | 0     | 0     | 1     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0  |

| 02. あなたは、授業に対して「単位さえもらえればよい」という気持ちで出席しましたか。 | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |     |
|---------------------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|
| 1. 大いにそう思う                                  | 8%    | 9%    | 7%    | 7%    | 10%   | 8%    | 8%    | 5%    | 2%    | 9%    | 7%    | 8%  |
| 2. そう思う                                     | 21%   | 16%   | 26%   | 16%   | 25%   | 19%   | 17%   | 0%    | 21%   | 23%   | 14%   | 21% |
| 3. そう思わない                                   | 35%   | 48%   | 45%   | 36%   | 38%   | 41%   | 36%   | 27%   | 44%   | 37%   | 33%   | 38% |
| 4. 全くそう思わない                                 | 35%   | 27%   | 22%   | 41%   | 27%   | 32%   | 40%   | 68%   | 33%   | 30%   | 46%   | 33% |

| 03. あなたは、この授業に対して授業時間外で総時間どれくらいの自己学習(予習・復習・レポート・試験勉強含む)を行いましたか。 | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |     |
|-----------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|
| 1. 1時間未満                                                        | 19%   | 23%   | 27%   | 16%   | 30%   | 33%   | 28%   | 5%    | 26%   | 28%   | 19%   | 26% |
| 2. 1.0時間以上～3.5時間未満 (受講あたり、平均して15分未満)                            | 29%   | 24%   | 25%   | 30%   | 24%   | 38%   | 34%   | 14%   | 35%   | 29%   | 30%   | 29% |
| 3. 3.5時間以上～7.5時間未満 (受講あたり、平均して15分以上～30分未満)                      | 24%   | 24%   | 28%   | 25%   | 23%   | 18%   | 24%   | 45%   | 26%   | 30%   | 27%   | 25% |
| 4. 7.5時間以上～15時間未満 (受講あたり、平均して30分以上～60分未満)                       | 25%   | 20%   | 16%   | 22%   | 18%   | 8%    | 11%   | 18%   | 14%   | 11%   | 20%   | 16% |
| 5. 15時間以上～30時間未満 (受講あたり、平均して60分以上～120分未満)                       | 2%    | 8%    | 3%    | 6%    | 4%    | 3%    | 2%    | 9%    | 0%    | 1%    | 5%    | 4%  |
| 6. 30時間以上 (1受講あたり、平均して120分以上)                                   | 1%    | 1%    | 0%    | 1%    | 1%    | 0%    | 1%    | 9%    | 0%    | 0%    | 0%    | 1%  |

| 04.《授業理解に関する質問》<br>この授業の内容はよく理解できましたか。 | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |     |
|----------------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|
| 1.大いにそう思う                              | 47%   | 34%   | 35%   | 48%   | 34%   | 39%   | 41%   | 36%   | 30%   | 34%   | 44%   | 39% |
| 2.そう思う                                 | 48%   | 62%   |       | 51%   | 61%   | 56%   |       | 64%   | 70%   | 63%   | 55%   | 58% |
| 3.そう思わない                               | 3%    | 3%    | 4%    | 1%    | 4%    | 4%    | 2%    | 0%    | 0%    | 3%    | 1%    | 3%  |
| 4.全くそう思わない                             | 1%    | 0%    | 1%    | 0%    | 1%    | 1%    | 0%    | 0%    | 0%    | 0%    | 0%    | 0%  |

| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
| 割合(%) | 割合(%) |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |

| 06. <授業改善に関する質問><br>この授業で担当教員に改善してほしい事項をチェックして下さい（複数可）。 | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） |
|---------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1. 特になし                                                 | 88%   | 80%   | 82%   | 91%   | 82%   | 87%   | 92%   | 91%   | 86%   | 90%   | 89%   |
| 2. 授業への熱意                                               | 3%    | 3%    | 2%    | 2%    | 3%    | 4%    | 2%    | 0%    | 2%    | 3%    | 2%    |
| 3. 学生に対する対応                                             | 3%    | 3%    | 6%    | 3%    | 3%    | 5%    | 2%    | 0%    | 2%    | 1%    | 3%    |
| 4. 説明のわかりやすさ                                            | 5%    | 9%    | 7%    | 3%    | 9%    | 7%    | 3%    | 0%    | 2%    | 4%    | 2%    |
| 5. 板書、教材、PowerPoint等のわかりやすさ                             | 3%    | 3%    | 2%    | 1%    | 6%    | 3%    | 2%    | 0%    | 2%    | 4%    | 2%    |
| 6. シラバスのわかりやすさ                                          | 0%    | 1%    | 2%    | 1%    | 1%    | 0%    | 0%    | 0%    | 0%    | 0%    | 0%    |
| 7. 授業の計画性・進行                                            | 3%    | 2%    | 3%    | 2%    | 1%    | 3%    | 1%    | 5%    | 0%    | 0%    | 1%    |
| 8. 授業の内容（情報）                                            | 4%    | 4%    | 3%    | 2%    | 4%    | 3%    | 2%    | 5%    | 0%    | 1%    | 0%    |
| 9. 成績評価の方法                                              | 1%    | 1%    | 2%    | 1%    | 1%    | 1%    | 1%    | 0%    | 7%    | 0%    | 1%    |
| 10. iPad等のICT機器の活用                                      | 1%    | 3%    | 2%    | 1%    | 2%    | 1%    | 1%    | 0%    | 1%    | 0%    | 1%    |
| 11. 予習・復習を促す課題等（の工夫）                                    | 1%    | 3%    | 2%    | 1%    | 2%    | 1%    | 1%    | 0%    | 2%    | 1%    | 3%    |
| 12. 学生が参加できる授業づくり（質疑応答・発表・グループワーク等）                     | 1%    | 5%    | 3%    | 2%    | 3%    | 3%    | 1%    | 0%    | 2%    | 1%    | 2%    |

| 07. <授業への興味・関心に関する質問><br>授業を通じて、この科目に関連する分野への興味や関心が高まりましたか。 | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） |
|-------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1. 大いにそう思う                                                  | 44%   | 41%   | 32%   | 48%   | 39%   | 43%   | 44%   | 73%   | 42%   | 36%   | 58%   |
| 2. そう思う                                                     | 52%   | 55%   | 60%   | 49%   | 54%   | 53%   | 54%   | 27%   | 56%   | 58%   | 41%   |
| 3. そう思わない                                                   | 2%    | 3%    | 7%    | 3%    | 6%    | 3%    | 2%    | 0%    | 0%    | 5%    | 1%    |
| 4. 全くそう思わない                                                 | 2%    | 0%    | 1%    | 0%    | 1%    | 1%    | 0%    | 0%    | 2%    | 0%    | 0%    |

| 08. <授業成果に関する質問><br>授業を通じて、特に身につけた力をチェックしてください（3つまで可）。 | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） |
|--------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1. 実技力                                                 | 15%   | 7%    | 38%   | 12%   | 8%    | 11%   | 13%   | 9%    | 9%    | 22%   | 14%   |
| 2. 実技指導力                                               | 2%    | 7%    | 5%    | 3%    | 5%    | 5%    | 11%   | 5%    | 19%   | 41%   | 10%   |
| 3. 事業運営力                                               | 1%    | 2%    | 5%    | 5%    | 5%    | 2%    | 8%    | 0%    | 23%   | 1%    | 4%    |
| 4. 指導者基礎力                                              | 1%    | 12%   | 2%    | 5%    | 9%    | 10%   | 10%   | 5%    | 16%   | 25%   | 14%   |
| 5. コミュニケーション力                                          | 61%   | 7%    | 33%   | 59%   | 6%    | 3%    | 5%    | 23%   | 19%   | 15%   | 60%   |
| 6. リーダーシップ                                             | 3%    | 2%    | 8%    | 7%    | 3%    | 3%    | 1%    | 0%    | 5%    | 3%    | 19%   |
| 7. キャリアデザイン力                                           | 2%    | 7%    | 12%   | 52%   | 5%    | 2%    | 3%    | 0%    | 21%   | 4%    | 8%    |
| 8. 課題解決力                                               | 15%   | 23%   | 43%   | 16%   | 22%   | 15%   | 13%   | 27%   | 12%   | 15%   | 22%   |
| 9. 一般教養・倫理                                             | 33%   | 39%   | 22%   | 26%   | 35%   | 28%   | 25%   | 14%   | 30%   | 42%   | 31%   |
| 10. 科学的支援力                                             | 0%    | 8%    | 2%    | 1%    | 5%    | 6%    | 10%   | 14%   | 5%    | 2%    | 1%    |
| 11. 科学的表現力                                             | 1%    | 11%   | 4%    | 1%    | 7%    | 5%    | 9%    | 36%   | 2%    | 2%    | 1%    |
| 12. 専門的な知識・教養                                          | 48%   | 70%   | 47%   | 23%   | 70%   | 84%   | 81%   | 91%   | 58%   | 65%   | 54%   |

| 09. 問8で選んだ身につけた能力について満足していますか。 | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） |
|--------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1. 十分満足している                    | 39%   | 34%   | 32%   | 42%   | 34%   | 37%   | 39%   | 45%   | 21%   | 35%   | 48%   |
| 2. 満足している                      | 55%   | 60%   | 61%   | 50%   | 57%   | 55%   | 56%   | 50%   | 60%   | 59%   | 47%   |
| 3. あまり満足していない                  | 5%    | 6%    | 7%    | 7%    | 8%    | 7%    | 5%    | 5%    | 19%   | 6%    | 5%    |
| 4. 全く満足していない                   | 1%    | 0%    | 0%    | 0%    | 1%    | 1%    | 0%    | 0%    | 0%    | 0%    | 0%    |

| 010. <総合評価（満足度）><br>総合的に判断して、この授業は意欲のあるものでしたか。 | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） | 割合（%） |
|------------------------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1. 大いにそう思う                                     | 55%   | 48%   | 51%   | 60%   | 44%   | 45%   | 51%   | 73%   | 40%   | 42%   | 69%   |
| 2. そう思う                                        | 40%   | 50%   | 46%   | 38%   | 52%   | 52%   | 48%   | 27%   | 58%   | 56%   | 31%   |
| 3. そう思わない                                      | 3%    | 2%    | 3%    | 1%    | 3%    | 3%    | 2%    | 0%    | 2%    | 3%    | 0%    |
| 4. 全くそう思わない                                    | 1%    | 0%    | 1%    | 1%    | 1%    | 1%    | 0%    | 0%    | 0%    | 0%    | 0%    |

令和4年度前期・鹿屋体育大学授業振り返りアンケート結果〔実技科目〕

|       |        |     |
|-------|--------|-----|
| 授業科目名 | 関連実技科目 | 合計  |
| 科目数   | 23     | 23  |
| 回答者数  | 640    | 640 |

| Q1. ≪自己学習に関する設問≫<br>あなたは、レポートや課題に対して納得いくまで取り組みましたか。 | 得点  | 得点  |
|-----------------------------------------------------|-----|-----|
| 1. 大いに思う                                            | 62% | 62% |
| 2. そう思う                                             | 36% | 36% |
| 3. そう思わない                                           | 2%  | 2%  |
| 4. 全くそう思わない                                         | 0%  | 0%  |

| Q2. あなたは、授業に対して「単位さえもらえればよい」という気持ちで出席しましたか。 | 得点  | 得点  |
|---------------------------------------------|-----|-----|
| 1. 大いに思う                                    | 10% | 10% |
| 2. そう思う                                     | 15% | 15% |
| 3. そう思わない                                   | 37% | 37% |
| 4. 全くそう思わない                                 | 38% | 38% |

| Q3. あなたは、この授業に対して授業時間外で総時間どれくらいの自己学習（予習・復習・レポート・試験勉強含む）を行いましたか。 | 得点  | 得点  |
|-----------------------------------------------------------------|-----|-----|
| 1. 1時間未満                                                        | 41% | 41% |
| 2. 1.0時間以上～3.5時間未満（1受講あたり、平均して15分未満）                            | 28% | 28% |
| 3. 3.5時間以上～7.5時間未満（1受講あたり、平均して15分以上～30分未満）                      | 18% | 18% |
| 4. 7.5時間以上～15時間未満（1受講あたり、平均して30分以上～60分未満）                       | 9%  | 9%  |
| 5. 15時間以上～30時間未満（1受講あたり、平均して60分以上～120分未満）                       | 3%  | 3%  |
| 6. 30時間以上（1受講あたり、平均して120分以上）                                    | 0%  | 0%  |

| Q4. ≪授業理解に関する質問≫<br>この授業の内容はよく理解できましたか。 | 得点  | 得点  |
|-----------------------------------------|-----|-----|
| 1. 大いに思う                                | 57% | 57% |
| 2. そう思う                                 | 41% | 41% |
| 3. そう思わない                               | 2%  | 2%  |
| 4. 全くそう思わない                             | 0%  | 0%  |

| Q5. ≪達成度に関する質問≫<br>シラバスに書かれている到達目標をあなたはどの程度達成できたと思いますか。 | 得点  | 得点  |
|---------------------------------------------------------|-----|-----|
| 1. 十分に達成できた                                             | 47% | 47% |
| 2. ある程度達成できた                                            | 46% | 46% |
| 3. あまり達成できなかった                                          | 5%  | 5%  |
| 4. 達成できなかった                                             | 0%  | 0%  |
| 5. 到達目標がわからない                                           | 1%  | 1%  |
| 6. シラバスを読んでいない                                          | 2%  | 2%  |

| Q6. ≪授業改善に関する質問≫<br>この授業で担当教員に改善してほしい事項をチェックして下さい（複数可）。 | 得点  | 得点  |
|---------------------------------------------------------|-----|-----|
| 1. 特になし                                                 | 90% | 90% |
| 2. 授業への熱意                                               | 2%  | 2%  |
| 3. 技能レベルに合わせた学生への対応                                     | 3%  | 3%  |
| 4. 指示、示範、デモンストレーションのわかりやすさ                              | 3%  | 3%  |
| 5. 教材、教具、環境の適切さ                                         | 1%  | 1%  |
| 6. シラバスのわかりやすさ                                          | 0%  | 0%  |
| 7. 授業の計画性・進行                                            | 2%  | 2%  |
| 8. 授業内容：ルール、記録、文化等の知識に関する内容                             | 1%  | 1%  |
| 9. 授業内容：運動技能を評価し、指導する能力に関する内容                           | 1%  | 1%  |
| 10. 授業内容：安全面への配慮、運営・管理能力に関する内容                          | 1%  | 1%  |
| 11. 成績評価の方法                                             | 2%  | 2%  |
| 12. iPad等のICT機器の活用                                      | 1%  | 1%  |
| 13. 予習・復習を促す課題等（の工夫）                                    | 1%  | 1%  |

| Q7. ≪授業への興味・関心に関する質問≫<br>授業を通じて、この科目に関連する分野への興味や関心が高まりましたか。 | 得点  | 得点  |
|-------------------------------------------------------------|-----|-----|
| 1. 大いに思う                                                    | 59% | 59% |
| 2. そう思う                                                     | 39% | 39% |
| 3. そう思わない                                                   | 2%  | 2%  |
| 4. 全くそう思わない                                                 | 1%  | 1%  |

|                                                        |     |     |
|--------------------------------------------------------|-----|-----|
| Q8. <授業成果に関する質問><br>授業を通じて、特に身についた力をチェックしてください（3つまで可）。 | 得点  | 得点  |
| 1. 実技力                                                 | 94% | 94% |
| 2. 実技指導力                                               | 32% | 32% |
| 3. 事業運営力                                               | 2%  | 2%  |
| 4. 指導者基礎力                                              | 8%  | 8%  |
| 5. コミュニケーション力                                          | 35% | 35% |
| 6. リーダーシップ                                             | 6%  | 6%  |
| 7. キャリアデザイン力                                           | 0%  | 0%  |
| 8. 課題解決力                                               | 13% | 13% |
| 9. 一般教養・倫理                                             | 3%  | 3%  |
| 10. 科学的支援力                                             | 0%  | 0%  |
| 11. 科学的表現力                                             | 0%  | 0%  |
| 12. 専門的な知識・教養                                          | 35% | 35% |
|                                                        |     |     |
| Q9. 問8で選んだ身につけた能力について満足していますか。                         | 得点  | 得点  |
| 1. 十分満足している                                            | 56% | 56% |
| 2. 満足している                                              | 41% | 41% |
| 3. あまり満足していない                                          | 3%  | 3%  |
| 4. 全く満足していない                                           | 1%  | 1%  |
|                                                        |     |     |
| Q10. <総合評価（満足度）><br>総合的に判断して、この授業は意義のあるものでしたか。         | 得点  | 得点  |
| 1. 大いにそう思う                                             | 68% | 68% |
| 2. そう思う                                                | 31% | 31% |
| 3. そう思わない                                              | 1%  | 1%  |
| 4. 全くそう思わない                                            | 0%  | 0%  |

令和4年度後期・鹿屋体育大学授業振り返りアンケート結果【講義・演習科目】

| 科目群  | コミュニケーション科目 | 社会・文化・自然科目 | 総合科目 | キャリアデザイン科目 | 基礎科目A | 基礎科目B | 応用科目 | 実験演習科目 | 専修科目(生涯学習系) | 指導要録科目 | 教職  | 教職専門 | 合計   |
|------|-------------|------------|------|------------|-------|-------|------|--------|-------------|--------|-----|------|------|
|      |             |            |      |            |       |       |      |        |             |        |     |      |      |
| 科目数  | 14          | 7          | 111  | 5          | 2     | 6     | 7    | 4      | 5           | 1      | 8   | 3    | 68   |
| 回答者数 | 249         | 372        | 111  | 111        | 202   | 441   | 242  | 273    | 57          | 158    | 873 | 341  | 3911 |

  

| 割合(%)                                              | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
|----------------------------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 01.《自己学習に関する設問》<br>あなたは、レポートや課題に対して納得いくまで取り組みましたか。 |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
| 1. 大いにそう思う                                         | 58%   | 50%   | 54%   | 52%   | 46%   | 54%   | 54%   | 57%   | 53%   | 51%   | 49%   | 67%   | 53%   |
| 2. そう思う                                            | 41%   | 48%   | 42%   | 46%   | 50%   | 43%   | 43%   | 40%   | 47%   | 47%   | 48%   | 32%   | 44%   |
| 3. そう思わない                                          | 1%    | 2%    | 3%    | 1%    | 3%    | 3%    | 2%    | 3%    | 0%    | 2%    | 3%    | 1%    | 2%    |
| 4. 全くそう思わない                                        | 0%    | 0%    | 1%    | 0%    | 1%    | 1%    | 1%    | 0%    | 0%    | 0%    | 0%    | 0%    | 0%    |

  

| 割合(%)                                       | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
|---------------------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 02. あなたは、授業に対して「単位さえもらえればよい」という気持ちで出席しましたか。 |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
| 1. 大いにそう思う                                  | 16%   | 16%   | 11%   | 21%   | 16%   | 13%   | 9%    | 19%   | 8%    | 15%   | 11%   | 10%   | 14%   |
| 2. そう思う                                     | 23%   | 23%   | 19%   | 24%   | 21%   | 23%   | 17%   | 20%   | 11%   | 20%   | 21%   | 14%   | 21%   |
| 3. そう思わない                                   | 31%   | 27%   | 34%   | 30%   | 31%   | 35%   | 34%   | 29%   | 26%   | 44%   | 33%   | 30%   | 32%   |
| 4. 全くそう思わない                                 | 29%   | 33%   | 37%   | 25%   | 31%   | 30%   | 40%   | 31%   | 55%   | 22%   | 35%   | 46%   | 34%   |

  

| 割合(%)                                                          | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
|----------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 03. あなたは、この授業に対して授業時間外で総時間どれくらい自己学習(予習・復習・レポート・試験勉強含む)を行いましたか。 |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
| 1. 1時間未満                                                       | 21%   | 37%   | 12%   | 25%   | 28%   | 21%   | 16%   | 29%   | 13%   | 28%   | 27%   | 11%   | 25%   |
| 2. 1.0時間以上～3.5時間未満(1受講あたり、平均して15分未満)                           | 28%   | 27%   | 24%   | 20%   | 29%   | 20%   | 24%   | 30%   | 26%   | 32%   | 32%   | 26%   | 27%   |
| 3. 3.5時間以上～7.5時間未満(1受講あたり、平均して15分以上～30分未満)                     | 22%   | 23%   | 18%   | 22%   | 26%   | 19%   | 26%   | 19%   | 11%   | 25%   | 26%   | 30%   | 24%   |
| 4. 7.5時間以上～15時間未満(1受講あたり、平均して30分以上～60分未満)                      | 21%   | 10%   | 26%   | 21%   | 13%   | 23%   | 26%   | 15%   | 34%   | 12%   | 12%   | 24%   | 17%   |
| 5. 15時間以上～30時間未満(1受講あたり、平均して60分以上～120分未満)                      | 7%    | 2%    | 18%   | 11%   | 3%    | 13%   | 6%    | 6%    | 16%   | 2%    | 2%    | 8%    | 6%    |
| 6. 30時間以上(1受講あたり、平均して120分以上)                                   | 0%    | 0%    | 2%    | 1%    | 0%    | 5%    | 2%    | 1%    | 0%    | 0%    | 1%    | 1%    | 1%    |

  

| 割合(%)                                  | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
|----------------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 04.《授業理解に関する質問》<br>この授業の内容はよく理解できましたか。 |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
| 1. 大いにそう思う                             | 52%   | 41%   | 39%   | 41%   | 39%   | 34%   | 39%   | 51%   | 47%   | 42%   | 43%   | 52%   | 43%   |
| 2. そう思う                                | 47%   | 54%   | 54%   | 57%   | 54%   | 58%   | 56%   | 44%   | 53%   | 58%   | 55%   | 46%   | 53%   |
| 3. そう思わない                              | 1%    | 5%    | 6%    | 1%    | 5%    | 6%    | 4%    | 4%    | 0%    | 0%    | 2%    | 1%    | 3%    |
| 4. 全くそう思わない                            | 0%    | 0%    | 1%    | 1%    | 2%    | 2%    | 1%    | 1%    | 0%    | 0%    | 0%    | 0%    | 1%    |

  

| 割合(%)                                                  | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
|--------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 05.《達成度に関する質問》<br>シラバスに書かれている到達目標をあなたはどの程度達成できたと思いますか。 |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
| 1. 十分に達成できた                                            | 45%   | 38%   | 32%   | 37%   | 34%   | 31%   | 33%   | 50%   | 32%   | 29%   | 37%   | 42%   | 37%   |
| 2. ある程度達成できた                                           | 48%   | 53%   | 55%   | 55%   | 54%   | 58%   | 57%   | 40%   | 61%   | 63%   | 56%   | 53%   | 54%   |
| 3. あまり達成できなかった                                         | 5%    | 5%    | 7%    | 4%    | 9%    | 6%    | 7%    | 4%    | 3%    | 5%    | 4%    | 2%    | 5%    |
| 4. 達成できなかった                                            | 0%    | 0%    | 2%    | 0%    | 1%    | 1%    | 1%    | 2%    | 0%    | 0%    | 0%    | 1%    | 1%    |
| 5. 到達目標がわからない                                          | 0%    | 1%    | 1%    | 1%    | 1%    | 1%    | 1%    | 0%    | 0%    | 0%    | 1%    | 1%    | 1%    |
| 6. シラバスを読んでいない                                         | 2%    | 3%    | 3%    | 3%    | 3%    | 3%    | 1%    | 4%    | 5%    | 2%    | 3%    | 2%    | 3%    |

| 06.《授業改善に関する質問》<br>この授業で担当教員に改善してほしい事項をチェックして下さい（複数可）。 |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     | 割合（％） | 割合（％） | 割合（％） | 割合（％） | 割合（％） | 割合（％） |
|--------------------------------------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1. 特になし                                                | 91% | 79% | 86% | 86% | 79% | 80% | 85% | 86% | 97% | 83% | 92% | 91% | 86%   |       |       |       |       |       |
| 2. 授業への熱意                                              | 2%  | 4%  | 2%  | 3%  | 4%  | 3%  | 1%  | 4%  | 0%  | 2%  | 3%  | 2%  | 3%    |       |       |       |       |       |
| 3. 学生に対する対応                                            | 3%  | 6%  | 2%  | 5%  | 7%  | 7%  | 3%  | 3%  | 0%  | 6%  | 2%  | 1%  | 4%    |       |       |       |       |       |
| 4. 説明のわかりやすさ                                           | 3%  | 11% | 8%  | 7%  | 11% | 15% | 8%  | 7%  | 0%  | 7%  | 2%  | 2%  | 7%    |       |       |       |       |       |
| 5. 板書、教材、PowerPoint等のわかりやすさ                            | 1%  | 7%  | 2%  | 2%  | 10% | 7%  | 6%  | 3%  | 3%  | 3%  | 2%  | 1%  | 4%    |       |       |       |       |       |
| 6. シラバスのわかりやすさ                                         | 1%  | 1%  | 0%  | 1%  | 1%  | 1%  | 0%  | 1%  | 0%  | 1%  | 1%  | 0%  | 1%    |       |       |       |       |       |
| 7. 授業の計画性・進行                                           | 2%  | 7%  | 2%  | 3%  | 4%  | 3%  | 3%  | 2%  | 0%  | 3%  | 1%  | 2%  | 3%    |       |       |       |       |       |
| 8. 授業の内容（情報）                                           | 3%  | 3%  | 0%  | 2%  | 4%  | 4%  | 5%  | 1%  | 0%  | 4%  | 1%  | 1%  | 2%    |       |       |       |       |       |
| 9. 成績評価の方法                                             | 1%  | 1%  | 2%  | 1%  | 4%  | 2%  | 1%  | 2%  | 0%  | 3%  | 1%  | 2%  | 2%    |       |       |       |       |       |
| 10. iPad等のICT機器の活用                                     | 2%  | 3%  | 0%  | 2%  | 5%  | 2%  | 2%  | 1%  | 0%  | 2%  | 0%  | 1%  | 1%    |       |       |       |       |       |
| 11. 予習・復習を促す課題等（の工夫）                                   | 0%  | 1%  | 2%  | 2%  | 2%  | 1%  | 3%  | 0%  | 0%  | 1%  | 1%  | 2%  | 1%    |       |       |       |       |       |
| 12. 学生が参加できる授業づくり（質疑応答・発表・グループワーク等）                    | 1%  | 2%  | 0%  | 0%  | 3%  | 2%  | 2%  | 1%  | 0%  | 4%  | 1%  | 1%  | 1%    |       |       |       |       |       |

| 07.《授業への興味・関心に関する質問》<br>授業を通じて、この科目に関連する分野への興味や関心が高まりましたか。 |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     | 割合（％） | 割合（％） | 割合（％） | 割合（％） | 割合（％） | 割合（％） |
|------------------------------------------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1. 大いにそう思う                                                 | 48% | 40% | 48% | 36% | 41% | 37% | 51% | 52% | 63% | 42% | 45% | 55% | 45%   |       |       |       |       |       |
| 2. そう思う                                                    | 50% | 52% | 50% | 61% | 51% | 55% | 46% | 42% | 32% | 54% | 53% | 43% | 51%   |       |       |       |       |       |
| 3. そう思わない                                                  | 2%  | 7%  | 2%  | 3%  | 6%  | 7%  | 3%  | 5%  | 5%  | 3%  | 2%  | 1%  | 4%    |       |       |       |       |       |
| 4. 全くそう思わない                                                | 0%  | 0%  | 0%  | 1%  | 1%  | 2%  | 0%  | 1%  | 0%  | 0%  | 0%  | 1%  | 1%    |       |       |       |       |       |

| 08.《授業成果に関する質問》<br>授業を通じて、特に身につけた力をチェックしてください（3つまで可）。 |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     | 割合（％） | 割合（％） | 割合（％） | 割合（％） | 割合（％） | 割合（％） |
|-------------------------------------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1. 実技力                                                | 21% | 7%  | 27% | 9%  | 7%  | 12% | 8%  | 20% | 3%  | 9%  | 9%  | 19% | 12%   |       |       |       |       |       |
| 2. 実技指導力                                              | 4%  | 4%  | 7%  | 7%  | 7%  | 24% | 8%  | 6%  | 24% | 41% | 11% | 39% | 14%   |       |       |       |       |       |
| 3. 事業運営力                                              | 1%  | 2%  | 3%  | 5%  | 2%  | 3%  | 12% | 2%  | 34% | 6%  | 4%  | 5%  | 4%    |       |       |       |       |       |
| 4. 指導者基礎力                                             | 1%  | 4%  | 2%  | 8%  | 9%  | 23% | 6%  | 4%  | 32% | 43% | 32% | 53% | 20%   |       |       |       |       |       |
| 5. コミュニケーション力                                         | 58% | 8%  | 15% | 23% | 3%  | 7%  | 11% | 8%  | 47% | 14% | 26% | 59% | 21%   |       |       |       |       |       |
| 6. リーダーシップ                                            | 1%  | 2%  | 3%  | 3%  | 0%  | 3%  | 5%  | 2%  | 3%  | 4%  | 5%  | 17% | 4%    |       |       |       |       |       |
| 7. キャリアデザイン力                                          | 4%  | 2%  | 8%  | 65% | 1%  | 4%  | 10% | 1%  | 32% | 12% | 7%  | 6%  | 8%    |       |       |       |       |       |
| 8. 課題解決力                                              | 15% | 16% | 22% | 15% | 12% | 22% | 28% | 15% | 5%  | 31% | 19% | 21% | 19%   |       |       |       |       |       |
| 9. 一般教養・倫理                                            | 42% | 52% | 27% | 19% | 29% | 19% | 25% | 20% | 26% | 26% | 41% | 26% | 32%   |       |       |       |       |       |
| 10. 科学的支援力                                            | 1%  | 1%  | 6%  | 2%  | 4%  | 7%  | 5%  | 9%  | 0%  | 2%  | 2%  | 1%  | 3%    |       |       |       |       |       |
| 11. 科学的表現力                                            | 2%  | 3%  | 8%  | 2%  | 6%  | 12% | 8%  | 13% | 8%  | 1%  | 2%  | 1%  | 5%    |       |       |       |       |       |
| 12. 専門的な知識・教養                                         | 34% | 60% | 67% | 19% | 74% | 67% | 73% | 72% | 50% | 31% | 58% | 48% | 58%   |       |       |       |       |       |

| 09. 問ひで選んだ身につけた能力について満足していますか。 |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     | 割合（％） | 割合（％） | 割合（％） | 割合（％） | 割合（％） | 割合（％） |
|--------------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1. 十分満足している                    | 44% | 41% | 44% | 38% | 37% | 36% | 43% | 52% | 47% | 32% | 42% | 49% | 42%   |       |       |       |       |       |
| 2. 満足している                      | 52% | 52% | 48% | 61% | 56% | 57% | 49% | 43% | 47% | 63% | 54% | 47% | 53%   |       |       |       |       |       |
| 3. あまり満足していない                  | 3%  | 6%  | 7%  | 1%  | 5%  | 6%  | 7%  | 4%  | 5%  | 4%  | 4%  | 4%  | 5%    |       |       |       |       |       |
| 4. 全く満足していない                   | 0%  | 0%  | 1%  | 1%  | 1%  | 1%  | 1%  | 1%  | 0%  | 0%  | 0%  | 0%  | 1%    |       |       |       |       |       |

| 010.《総合評価（満足度）》<br>総合的に判断して、この授業は意義のあるものでしたか。 |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     | 割合（％） | 割合（％） | 割合（％） | 割合（％） | 割合（％） | 割合（％） |
|-----------------------------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1. 大いにそう思う                                    | 57% | 47% | 57% | 45% | 44% | 40% | 49% | 56% | 68% | 47% | 51% | 65% | 50%   |       |       |       |       |       |
| 2. そう思う                                       | 42% | 49% | 42% | 54% | 50% | 54% | 48% | 40% | 32% | 53% | 48% | 34% | 47%   |       |       |       |       |       |
| 3. そう思わない                                     | 1%  | 2%  | 2%  | 1%  | 5%  | 4%  | 2%  | 3%  | 0%  | 1%  | 1%  | 1%  | 2%    |       |       |       |       |       |
| 4. 全くそう思わない                                   | 0%  | 1%  | 0%  | 0%  | 1%  | 1%  | 1%  | 1%  | 0%  | 0%  | 0%  | 0%  | 1%    |       |       |       |       |       |

令和4年度後期・鹿屋体育大学授業振り返りアンケート結果[実技科目]

| 科目群 | 関連実技科目 | 専修科目<br>(アスリート・コーチング<br>系) | 専修科目<br>(武道系) | 合計   |
|-----|--------|----------------------------|---------------|------|
| 科目数 | 29     | 28                         | 7             | 64   |
| 回答数 | 756    | 166                        | 110           | 1032 |

| Q1.《自己学習に関する設問》<br>あなたは、レポートや課題に対して納得いくまで取り組みましたか。 | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
|----------------------------------------------------|-------|-------|-------|-------|
| 1.大いにそう思う                                          | 64%   | 66%   | 72%   | 65%   |
| 2.そう思う                                             | 35%   | 34%   | 28%   | 34%   |
| 3.そう思わない                                           | 1%    | 0%    | 1%    | 1%    |
| 4.全くそう思わない                                         | 0%    | 0%    | 0%    | 0%    |

| Q2.あなたは、授業に対して「単位さえもらえればよい」という気持ちで出席しましたか。 | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
|--------------------------------------------|-------|-------|-------|-------|
| 1.大いにそう思う                                  | 15%   | 12%   | 16%   | 15%   |
| 2.そう思う                                     | 14%   | 15%   | 11%   | 14%   |
| 3.そう思わない                                   | 24%   | 24%   | 27%   | 24%   |
| 4.全くそう思わない                                 | 48%   | 49%   | 46%   | 48%   |

| Q3.あなたは、この授業に対して授業時間外で総時間どれくらいの自己学習(予習・復習・レポート・試験勉強含む)を行いましたか。 | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
|----------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-------|
| 1.1時間未満                                                        | 47%   | 28%   | 23%   | 40%   |
| 2.1.0時間以上～3.5時間未満(1受講あたり、平均して15分未満)                            | 25%   | 26%   | 31%   | 26%   |
| 3.3.5時間以上～7.5時間未満(1受講あたり、平均して15分以上～30分未満)                      | 14%   | 22%   | 28%   | 18%   |
| 4.7.5時間以上～15時間未満(1受講あたり、平均して30分以上～60分未満)                       | 9%    | 16%   | 13%   | 11%   |
| 5.15時間以上～30時間未満(1受講あたり、平均して60分以上～120分未満)                       | 3%    | 6%    | 5%    | 4%    |
| 6.30時間以上(1受講あたり、平均して120分以上)                                    | 1%    | 2%    | 1%    | 1%    |

| Q4.《授業理解に関する質問》<br>この授業の内容はよく理解できましたか。 | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
|----------------------------------------|-------|-------|-------|-------|
| 1.大いにそう思う                              | 63%   | 58%   | 64%   | 62%   |
| 2.そう思う                                 | 36%   | 41%   | 35%   | 37%   |
| 3.そう思わない                               | 0%    | 1%    | 1%    | 1%    |
| 4.全くそう思わない                             | 0%    | 0%    | 0%    | 0%    |

| Q5.《達成度に関する質問》<br>シラバスに書かれている到達目標をあなたはどの程度達成できたと思いますか。 | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
|--------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-------|
| 1.十分に達成できた                                             | 54%   | 54%   | 52%   | 54%   |
| 2.ある程度達成できた                                            | 41%   | 42%   | 45%   | 42%   |
| 3.あまり達成できなかった                                          | 2%    | 2%    | 1%    | 2%    |
| 4.達成できなかった                                             | 0%    | 0%    | 0%    | 0%    |
| 5.到達目標がわからない                                           | 1%    | 0%    | 0%    | 1%    |
| 6.シラバスを読んでいない                                          | 3%    | 1%    | 2%    | 2%    |

| Q6.《授業改善に関する質問》<br>この授業で担当教員に改善してほしい事項をチェックして下さい(複数可)。 | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
|--------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-------|
| 1.特になし                                                 | 90%   | 93%   | 95%   | 91%   |
| 2.授業への熱意                                               | 3%    | 3%    | 4%    | 3%    |
| 3.技能レベルに合わせた学生への対応                                     | 4%    | 3%    | 3%    | 4%    |
| 4.指示、示範、デモンストレーションのわかりやすさ                              | 2%    | 1%    | 1%    | 2%    |
| 5.教材、教具、環境の適切さ                                         | 1%    | 1%    | 2%    | 1%    |
| 6.シラバスのわかりやすさ                                          | 0%    | 0%    | 1%    | 0%    |
| 7.授業の計画性・進行                                            | 2%    | 2%    | 2%    | 2%    |
| 8.授業内容:ルール、記録、文化等の知識に関する内容                             | 1%    | 1%    | 1%    | 1%    |
| 9.授業内容:運動技能を評価し、指導する能力に関する内容                           | 1%    | 1%    | 1%    | 1%    |
| 10.授業内容:安全面への配慮、運営・管理能力に関する内容                          | 1%    | 0%    | 1%    | 1%    |
| 11.成績評価の方法                                             | 1%    | 1%    | 0%    | 1%    |
| 12.iPad等のICT機器の活用                                      | 1%    | 0%    | 0%    | 1%    |
| 13.予習・復習を促す課題等(の工夫)                                    | 0%    | 0%    | 0%    | 0%    |

| Q7.《授業への興味・関心に関する質問》<br>授業を通じて、この科目に関連する分野への興味や関心が高まりましたか。 | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
|------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-------|
| 1.大いにそう思う                                                  | 62%   | 63%   | 68%   | 63%   |
| 2.そう思う                                                     | 35%   | 36%   | 32%   | 35%   |
| 3.そう思わない                                                   | 3%    | 0%    | 1%    | 2%    |
| 4.全くそう思わない                                                 | 0%    | 0%    | 0%    | 0%    |

| Q8.《授業成果に関する質問》<br>授業を通じて、特に身についた力をチェックしてください(3つまで可)。 | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
|-------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-------|
| 1.実技力                                                 | 92%   | 76%   | 91%   | 88%   |
| 2.実技指導力                                               | 37%   | 65%   | 62%   | 46%   |
| 3.事業運営力                                               | 2%    | 6%    | 5%    | 3%    |
| 4.指導者基礎力                                              | 10%   | 32%   | 26%   | 17%   |
| 5.コミュニケーション力                                          | 27%   | 26%   | 13%   | 25%   |
| 6.リーダーシップ                                             | 3%    | 6%    | 8%    | 4%    |
| 7.キャリアデザイン力                                           | 1%    | 3%    | 2%    | 2%    |
| 8.課題解決力                                               | 10%   | 17%   | 12%   | 11%   |
| 9.一般教養・倫理                                             | 2%    | 4%    | 4%    | 3%    |
| 10.科学的支援力                                             | 0%    | 1%    | 0%    | 0%    |
| 11.科学的表現力                                             | 1%    | 2%    | 1%    | 1%    |
| 12.専門的な知識・教養                                          | 30%   | 50%   | 44%   | 36%   |

| Q9.問8で選んだ身につけた能力について満足していますか。 | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
|-------------------------------|-------|-------|-------|-------|
| 1.十分満足している                    | 58%   | 56%   | 65%   | 59%   |
| 2.満足している                      | 38%   | 41%   | 35%   | 39%   |
| 3.あまり満足していない                  | 2%    | 2%    | 1%    | 2%    |
| 4.全く満足していない                   | 1%    | 0%    | 0%    | 1%    |

| Q10.《総合評価(満足度)》<br>総合的に判断して、この授業は意義のあるものでしたか。 | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) | 割合(%) |
|-----------------------------------------------|-------|-------|-------|-------|
| 1.大いにそう思う                                     | 65%   | 68%   | 73%   | 67%   |
| 2.そう思う                                        | 33%   | 32%   | 27%   | 32%   |
| 3.そう思わない                                      | 2%    | 0%    | 0%    | 1%    |
| 4.全くそう思わない                                    | 1%    | 0%    | 0%    | 0%    |

## 教員の教育・指導技術等に関する評価システムに基づく 顕彰対象者の選出方法に係る実施要項

〔令和 元年 9月27日〕  
FD推進専門委員会決定

改正 令和 2年 2月 5日  
令和 4年 5月24日

### （趣旨）

第1 この要項は、学生の主体的な学修を確立し、教員の教育能力及び指導能力等を向上させることを目的として、教員の教育・指導技術等に関する評価システムに基づき、優れた教員を顕彰するため、必要な事項を定めるものとする。

### （評価システム）

第2 教員の授業力評価にあたっては、毎学期ごとに実施される授業振り返りアンケートにおいて、担当授業科目ごとに教育能力及び指導能力が発揮されたかを評価する。  
2 授業振り返りアンケートは、履修者が10名以上の科目を対象として実施する。

### （評価対象者）

第3 教員の授業力評価を受けるものは本学の常勤職員で、授業振り返りアンケートにおける振り返り（講評）を行っている者を対象とする。

### （評価対象科目）

第4 評価にあたっては、授業振り返りアンケートのうち、履修者数の70%以上から回答があった授業科目を対象とする。

### （算出基準）

第5 履修者の回答した授業振り返りアンケートを基に、別に定める方法により「授業得点(%)」を算出する。

### （顕彰対象授業科目の決定）

第6 顕彰対象授業科目の決定にあたっては、第5で算出した「授業得点(%)」に基づきFD推進専門委員会において別に定める選出基準によって行う。

### （顕彰対象者の推薦）

第7 FD推進専門委員会で決定した顕彰対象授業科目の担当教員を顕彰対象者として教務委員会委員長へ推薦する。

### （特別表彰対象者への推薦）

第8 前項の推薦者の中で特に優れた者としてFD推進専門委員会が認めた者については、鹿屋体育大学職員表彰規則第4条に定める特別表彰の対象者として、学長へ推薦する。

### （その他）

第9 この要項に定めるもののほか、教員の教育・指導技術等に関する評価システムに基づく顕彰対象者の選出方法に関し必要な事項は、別に定める。  
2 教員の教育・指導技術等に関する評価システムに基づく顕彰対象者の選出方法に関する事務は、教務課において行う。

### 附 則

この要項は、令和元年9月27日から施行し、平成31年4月1日から適用する。

附 則（令 2. 2. 5）

この要項は、令和 2 年 2 月 5 日から施行し、平成 3 1 年 4 月 1 日から適用する。

附 則（令 4. 5. 2 4）

この要項は、令和 4 年 5 月 2 4 日から施行し、令和 4 年 4 月 1 日から適用する。

令和 元年 9月27日  
FD推進専門委員会決定  
改正 令和 2年 6月29日  
改正 令和 4年 5月24日

## 教員の教育・指導技術等に関する評価システムに基づく顕彰対象者の 選出方法に係る実施要項の取り扱いについて

### ■背景

#### < 中期目標 >

10. 学生の主体的な学修を確立するため、教員の教育能力及び指導能力等を向上させる。

#### < 中期計画 >

【13】教員の教育・指導技術等に関する評価システムを構築するとともに、優れた教員を顕彰する制度を平成30年度までに確立する。

#### < 平成30年度計画 >

教員の教育・指導技術等に関する評価システムに基づきを構築する。また、教員を顕彰する仕組みを構築する。

### ■提案

#### < 教員授業力の評価システム >

・本評価システムは、学生の主体的な学修を確立し、教員の教育能力及び指導能力等を向上させるために実施する。

・自己点検項目には、教育の実績評価はあるもの「教員の教育・指導技術等に関する評価項目」がないので、学生の主体的な学修の取り組み等を評価している「授業振り返りアンケート」を用いて、教員の教育能力の一端である「授業力」を評価する仕組みを構築する。

・教員の授業力は、担当授業科目毎に教育能力が発揮されたかについて「授業振り返りアンケート」を用いて評価するものとする。

・評価では、回答者が10人以上で、履修人数に対して70%以上の回答があるものについて対象とする。

・評価方法は、受講生の回答したデータを基に、「授業得点(%)」を算出する。「授業得点」の算出方法の詳細は別紙参照。

なお、授業得点は、学生による学修内容の「理解度(Q4)」「達成度(Q5)」「関心度(Q7)」「修得満足度(Q9)」「全体満足度(Q10)」の得点より算出する。

#### < 「教員の顕彰」の手続き >

・授業振り返りアンケートから算出された授業科目(Class)毎の「授業得点(%)」を元に、以下の顕彰を行う。

●講義・演習科目は、回答者数に応じて表彰基準を変更する。

・回答者数10～25人:授業得点85%以上:優秀授業賞

・回答者数26～75人:授業得点80%以上:優秀授業賞

・回答者数76人以上:授業得点75%以上:優秀授業賞

●実技科目は、専修論・実習及び関連実技科目を対象とする

・専修論・実習:授業得点90%以上:優秀授業賞

・関連実技科目:授業得点85%以上:優秀授業賞

・本授業に関する表彰は、教務委員会委員長名で実施するものとする。

令和3年度授業科目における優秀授業賞対象者一覧

|      | 対象者氏名 | 推薦理由                    |         |                      |
|------|-------|-------------------------|---------|----------------------|
|      |       | 授業科目名                   | 科目区分    | 推薦要件                 |
| (1)  | 青木 竜  | 教職実践演習(中・高)(3～8週)       | 講義・演習科目 | 回答者数76人以上：授業得点75%以上  |
|      |       | 総合演習A                   | 講義・演習科目 | 回答者数76人以上：授業得点75%以上  |
|      |       | サッカー①                   | 実技科目    | 関連実技：授業得点80%以上       |
| (2)  | 幾留 沙智 | 教育相談・カウンセリング論           | 講義・演習科目 | 回答者数76人以上：授業得点75%以上  |
| (3)  | 梶 ちか子 | 教職実践演習(中・高)(3～8週)       | 講義・演習科目 | 回答者数76人以上：授業得点75%以上  |
|      |       | 保健体育科教育法Ⅲ               | 講義・演習科目 | 回答者数76人以上：授業得点75%以上  |
|      |       | 保健体育科教育法Ⅰ               | 講義・演習科目 | 回答者数76人以上：授業得点75%以上  |
|      |       | 保健体育科教育法Ⅳ               | 講義・演習科目 | 回答者数76人以上：授業得点75%以上  |
|      |       | 保健体育科教育法Ⅱ               | 講義・演習科目 | 回答者数76人以上：授業得点75%以上  |
|      |       | ダンス②                    | 実技科目    | 関連実技：授業得点80%以上       |
|      |       | ダンス①                    | 実技科目    | 関連実技：授業得点80%以上       |
| (4)  | 金高 宏文 | キャリアセミナー(1～8週)          | 講義・演習科目 | 回答者数76人以上：授業得点75%以上  |
| (5)  | 国重 徹  | キャリアセミナー(1～8週)          | 講義・演習科目 | 回答者数76人以上：授業得点75%以上  |
| (6)  | 栗山 靖弘 | 教職実践演習(中・高)(3～8週)       | 講義・演習科目 | 回答者数76人以上：授業得点75%以上  |
|      |       | 国語・文章表現法                | 講義・演習科目 | 回答者数76人以上：授業得点75%以上  |
|      |       | 生徒・進路指導論                | 講義・演習科目 | 回答者数76人以上：授業得点75%以上  |
|      |       | 総合演習A                   | 講義・演習科目 | 回答者数76人以上：授業得点75%以上  |
| (7)  | 小森 大輔 | 教職実践演習(中・高)(3～8週)       | 講義・演習科目 | 回答者数76人以上：授業得点75%以上  |
|      |       | 総合演習A                   | 講義・演習科目 | 回答者数76人以上：授業得点75%以上  |
| (8)  | 坂中 美郷 | 教職実践演習(中・高)(3～8週)       | 講義・演習科目 | 回答者数76人以上：授業得点75%以上  |
|      |       | バレーボール①                 | 実技科目    | 関連実技：授業得点80%以上       |
| (9)  | 塩川 勝行 | サッカー①                   | 実技科目    | 関連実技：授業得点80%以上       |
| (10) | 下川 美佳 | 剣道①                     | 実技科目    | 関連実技：授業得点80%以上       |
| (11) | 隅野美砂輝 | スポーツマーケティング論            | 講義・演習科目 | 回答者数26～75人：授業得点80%以上 |
|      |       | キャリアセミナー(1～8週)          | 講義・演習科目 | 回答者数76人以上：授業得点75%以上  |
| (12) | 関 朋昭  | スポーツマネジメント概論            | 講義・演習科目 | 回答者数76人以上：授業得点75%以上  |
| (13) | 竹中健太郎 | 教職実践演習(中・高)(3～8週)       | 講義・演習科目 | 回答者数76人以上：授業得点75%以上  |
|      |       | 剣道①                     | 実技科目    | 関連実技：授業得点80%以上       |
| (14) | 田巻 弘之 | 体育学実験Ⅱー運動生理学            | 講義・演習科目 | 回答者数26～75人：授業得点80%以上 |
| (15) | 中村 勇  | キャリアデザインⅠ               | 講義・演習科目 | 回答者数76人以上：授業得点75%以上  |
| (16) | 中本 浩揮 | 教職実践演習(中・高)(3～8週)       | 講義・演習科目 | 回答者数76人以上：授業得点75%以上  |
|      |       | 教育相談・カウンセリング論           | 講義・演習科目 | 回答者数76人以上：授業得点75%以上  |
| (17) | 成田 健造 | 陸上・体操・水泳③(水泳・6/29-11/2) | 実技科目    | 関連実技：授業得点80%以上       |
| (18) | 濱田 幸二 | 教職実践演習(中・高)(3～8週)       | 講義・演習科目 | 回答者数76人以上：授業得点75%以上  |
|      |       | バレーボール①                 | 実技科目    | 関連実技：授業得点80%以上       |
| (19) | 浜田 幸史 | 教職実践演習(中・高)(3～8週)       | 講義・演習科目 | 回答者数76人以上：授業得点75%以上  |
|      |       | 保健体育科教育法Ⅲ               | 講義・演習科目 | 回答者数76人以上：授業得点75%以上  |
|      |       | 保健体育科教育法Ⅰ               | 講義・演習科目 | 回答者数76人以上：授業得点75%以上  |
|      |       | 保健体育科教育法Ⅳ               | 講義・演習科目 | 回答者数76人以上：授業得点75%以上  |
|      |       | 保健体育科教育法Ⅱ               | 講義・演習科目 | 回答者数76人以上：授業得点75%以上  |
| (20) | 藤田 英二 | 運動処方論                   | 講義・演習科目 | 回答者数76人以上：授業得点75%以上  |
| (21) | 前阪 茂樹 | 剣道①                     | 実技科目    | 関連実技：授業得点80%以上       |
| (22) | 松村 勲  | 教職実践演習(中・高)(3～8週)       | 講義・演習科目 | 回答者数76人以上：授業得点75%以上  |
|      |       | 総合演習A                   | 講義・演習科目 | 回答者数76人以上：授業得点75%以上  |
| (23) | 萬久 博敏 | 陸上・体操・水泳③(水泳・6/29-11/2) | 実技科目    | 関連実技：授業得点80%以上       |
| (24) | 三浦 健  | バスケットボール①               | 実技科目    | 関連実技：授業得点80%以上       |
| (25) | 森 克己  | 教職実践演習(中・高)(3～8週)       | 講義・演習科目 | 回答者数76人以上：授業得点75%以上  |
|      |       | 国語・文章表現法                | 講義・演習科目 | 回答者数76人以上：授業得点75%以上  |
| (26) | 山本 一生 | 教職実践演習(中・高)(3～8週)       | 講義・演習科目 | 回答者数76人以上：授業得点75%以上  |
| (27) | 吉田剛一郎 | 運動生化学                   | 講義・演習科目 | 回答者数76人以上：授業得点75%以上  |
| (28) | 奥谷 謙吾 | 体育学実験Ⅱー運動生理学            | 講義・演習科目 | 回答者数26～75人：授業得点80%以上 |
|      |       | 解剖生理学                   | 講義・演習科目 | 回答者数76人以上：授業得点75%以上  |

令和4年度FD事業への教員の参画状況

| FD事業                   | 授業参観<br>(参観者) | 授業参観<br>(推奨授業<br>担当者) | FD講演会       | FD講演会         | 外部研修 | 新任教員<br>研修会 | TA研修会 | 授業振り返りアン<br>ケート結果講評 |    | 合計 | 備考      |
|------------------------|---------------|-----------------------|-------------|---------------|------|-------------|-------|---------------------|----|----|---------|
| 期間                     | 6/2～<br>1/27  | 6/2～<br>1/27          | 2/15        | 2/28          |      |             |       | 前期                  | 後期 |    |         |
| 講師氏名                   |               |                       | 小川健<br>専任教員 | 今村智佳子<br>特任助教 |      |             |       |                     |    |    |         |
| 瓜田 吉久                  | ○             |                       |             | ○             |      |             |       | ○                   | ○  | 4  |         |
| 金高 宏文                  | ○             |                       | ○           |               |      | ○           |       | ○                   | ○  | 5  |         |
| 小澤 雄二                  | ○             |                       |             |               |      |             |       | ○                   | ○  | 3  |         |
| 濱田 幸二                  | ○             | ○                     | ○           |               |      |             |       | ○                   | ○  | 5  |         |
| 前阪 茂樹                  | ○             |                       |             | ○             |      |             |       | ○                   | ○  | 4  |         |
| 中村 夏実                  |               |                       |             | ○             |      |             |       | ○                   | ○  | 3  |         |
| 高橋 仁大                  | ○             |                       |             |               |      |             |       | ○                   | ○  | 3  |         |
| 竹中 健太郎                 | ○             |                       | ○           |               |      |             |       | ○                   | ○  | 4  |         |
| 三浦 健                   |               | ○                     | ○           | ○             |      |             |       | ○                   | ○  | 5  |         |
| 萬久 博敏                  | ○             | ○                     | ○           | ○             |      |             |       | ○                   | ○  | 6  |         |
| 松村 勲                   | ○             | ○                     | ○           | ○             |      |             |       | ○                   | ○  | 6  |         |
| 永原 隆                   | ○             | ○                     | ○           |               |      |             |       | ○                   | ○  | 5  |         |
| 塩川 勝行                  | ○             | ○                     | ○           | ○             |      |             |       | ○                   | ○  | 6  |         |
| 榮楽 洋光                  | ○             |                       |             |               |      |             |       | ○                   | ○  | 3  |         |
| 下川 美佳                  | ○             | ○                     | ○           | ○             |      |             | ○     | ○                   | ○  | 7  |         |
| 村上 俊祐                  | ○             |                       | ○           |               | ○    |             |       | ○                   | ○  | 5  |         |
| 坂中 美郷                  | ○             | ○                     |             |               |      |             |       | ○                   | ○  | 4  |         |
| 小森 大輔                  | ○             | ○                     |             | ○             |      |             |       | ○                   | ○  | 5  |         |
| 山下 龍一郎                 |               |                       | ○           | ○             |      | ○           |       | ○                   | ○  | 5  |         |
| 成田 健造                  | ○             | ○                     | ○           | ○             |      |             |       | ○                   | ○  | 6  |         |
| 藤井 雅文                  | ○             | ○                     |             |               |      |             |       | ○                   | ○  | 4  |         |
| 山口 大貴                  | ○             |                       |             |               |      |             |       | ○                   | ○  | 3  |         |
| 青木 竜                   | ○             | ○                     |             |               |      |             |       | ○                   | ○  | 4  |         |
| 前村 かおり                 | ○             | ○                     |             | ○             |      | ○           |       | ○                   | ○  | 6  |         |
| 笹子 悠歩                  | ○             |                       |             | ○             |      | ○           |       | ○                   | ○  | 5  |         |
| 小崎 亮輔                  | ○             |                       |             | ○             |      |             |       | ○                   | ○  | 4  |         |
| 中谷 太希                  | ○             |                       | ○           |               |      |             |       | ○                   | ○  | 4  |         |
| 山本 正嘉                  |               |                       |             |               |      |             |       |                     | ○  | 1  |         |
| 安田 修                   |               |                       |             | ○             |      |             |       |                     |    | 1  | *学部授業無し |
| 藤井 康成                  |               |                       |             |               |      |             |       |                     |    | 0  | *学部授業無し |
| 堀内 雅弘                  | ○             |                       |             | ○             |      | ○           |       |                     | ○  | 4  |         |
| 田巻 弘之                  | ○             |                       |             | ○             |      |             |       |                     | ○  | 3  |         |
| 中垣内 真樹                 | ○             |                       |             |               |      |             |       | ○                   | ○  | 3  |         |
| 藤田 英二                  | ○             | ○                     | ○           | ○             |      |             |       | ○                   | ○  | 6  |         |
| Mohammad Monirul Islam |               |                       |             |               |      |             |       | ○                   |    | 1  |         |
| 吉田 剛一郎                 |               | ○                     | ○           | ○             |      |             |       | ○                   |    | 4  |         |
| 廣津 匡隆                  | ○             |                       |             | ○             |      |             |       | ○                   | ○  | 4  |         |
| 沼尾 成晴                  | ○             |                       |             |               |      |             |       | ○                   | ○  | 3  |         |
| 高井 洋平                  |               |                       |             |               |      |             |       | ○                   | ○  | 2  |         |
| 與谷 謙吾                  | ○             |                       |             | ○             |      |             |       | ○                   | ○  | 4  |         |
| 村田 宗紀                  | ○             |                       |             |               |      |             | ○     | ○                   | ○  | 4  |         |
| 石神 睦子                  |               |                       |             |               |      |             |       | ○                   | ○  | 2  |         |
| 前田 博子                  |               |                       |             | ○             |      |             |       |                     | ○  | 2  |         |
| 吉重 美紀                  | ○             |                       | ○           | ○             |      |             |       | ○                   | ○  | 5  |         |
| 山田 理恵                  | ○             |                       | ○           | ○             |      |             |       | ○                   | ○  | 5  |         |
| 森 克己                   | ○             | ○                     |             | ○             |      |             |       | ○                   | ○  | 5  |         |
| 森 司朗                   | ○             |                       |             |               |      |             |       | ○                   | ○  | 3  |         |
| 国重 徹                   | ○             |                       | ○           | ○             |      |             |       | ○                   | ○  | 5  |         |
| 北村 尚浩                  | ○             |                       |             | ○             |      |             |       | ○                   | ○  | 4  |         |
| 関 朋昭                   | ○             | ○                     | ○           |               | ○    |             |       | ○                   | ○  | 6  |         |
| 和田 智仁                  | ○             |                       |             |               | ○    |             |       |                     | ○  | 3  |         |
| エルメス ディビット             |               |                       | ○           | ○             |      |             |       | ○                   |    | 3  |         |
| 浜田 幸史                  | ○             | ○                     | ○           | ○             |      |             |       | ○                   | ○  | 6  |         |
| 隅野 美砂輝                 | ○             | ○                     |             |               |      |             |       | ○                   | ○  | 4  |         |
| 中本 浩揮                  | ○             | ○                     |             |               |      |             |       | ○                   | ○  | 4  |         |
| 山本 一生                  | ○             | ○                     | ○           |               |      |             |       | ○                   | ○  | 5  |         |
| 梶 ちか子                  | ○             | ○                     | ○           |               | ○    |             |       | ○                   | ○  | 6  |         |
| 中村 勇                   | ○             |                       |             | ○             |      |             |       | ○                   | ○  | 4  |         |
| 坂口 俊哉                  | ○             |                       |             | ○             |      |             |       | ○                   | ○  | 4  |         |
| 栗山 靖弘                  | ○             | ○                     |             | ○             |      |             |       | ○                   | ○  | 5  |         |
| 幾留 沙智                  | ○             | ○                     |             |               |      |             |       | ○                   | ○  | 4  |         |
| 迫田 和之                  | ○             |                       | ○           |               | ○    |             |       |                     | ○  | 4  |         |
| 日下 知明                  | ○             |                       | ○           | ○             |      |             |       | ○                   | ○  | 5  |         |
| 棟田 雅也                  | ○             |                       |             | ○             |      |             |       |                     | ○  | 3  |         |
| 合 計                    | 52            | 24                    | 25          | 34            | 5    | 5           | 2     | 55                  | 59 | 63 |         |

64

100%

※ □は担当教員及び対象教員以外の教員

※ 各種講演会等においては、授業との重複等によりやむを得ず欠席となった場合あり

令和4年度鹿屋体育大学  
ファカルティ・ディベロップメント推進専門委員会委員名簿

| 役職   | 氏名     | 所属等            |
|------|--------|----------------|
| 委員長  | 金高 宏文  | 教務委員会副委員長      |
| 副委員長 | 梶 ちか子  | スポーツ人文・応用社会科学系 |
| 委員   | 吉田 剛一郎 | スポーツ生命科学系      |
| 委員   | 村田 宗紀  | スポーツ生命科学系      |
| 委員   | 榮樂 洋光  | スポーツ・武道実践科学系   |
| 委員   | 村上 俊祐  | スポーツ・武道実践科学系   |
| 委員   | 日下 知明  | スポーツ人文・応用社会科学系 |
| 委員   | 元明 勇二  | 教務課課長          |

---

## 令和4年度 鹿屋体育大学F D報告書

発行日：令和5年12月

編集・発行：鹿屋体育大学F D推進専門委員会

住所：〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地

電話：0994-46-4862（教育企画係）

---